

民
間
日
用
寶
鑑
全

十七 商標條例
 十八 度量衡法
 十九 同上製作制限及檢定
 二十 地租
 二十一 地租徵收期限
 二十二 所得稅
 二十三 酒造稅
 二十四 自家用料酒
 二十五 醬麴營業稅
 二十六 酒精營業稅
 二十七 醬油稅
 二十八 菓子稅
 二十九 煙草稅
 三十 証券印稅
 三十一 賣藥稅
 三十二 同印紙稅
 三十三 船稅
 三十四 車稅
 三十五 牛馬買賣免許稅

一八
 一九
 二〇
 二〇
 二一
 二二
 二二
 二三
 二四
 二四
 二五
 二六
 二七
 二八
 三〇
 三二
 三八
 三八
 三九
 四〇
 四一

三十六 礦業稅
 三十七 取引所稅
 三十八 府縣稅
 三十九 營業稅及雜種稅
 四十 營業稅雜種稅率
 四十一 貸坐敷及娼妓賦金
 四十二 同上取締規則
 四十三 府縣稅徵收期限
 四十四 市町村稅
 四十五 取引所法
 四十六 狩獵規則
 四十七 鑛業ニ關スル手數料
 四十八 稅則規則
 四十九 同上手數料
 五十 郵便條例
 五十一 郵便電信爲替料
 五十二 郵便電信受付時限
 五十三 小包郵便法
 五十四 同上郵便料

四二
 四三
 四三
 四四
 四四
 四四
 四九
 五〇
 五一
 五二
 五二
 五三
 五三
 五四
 五六
 五七
 五八
 五九
 六二
 六三
 六四
 六四

五十五	配達證明郵便	六六
五十六	郵便貯金條例	六七
五十七	同上利子割合	六八
五十八	電信條例	六九
五十九	同上取扱規則	七〇
六十	電報局渡規則	七一
六十一	電報差出方依托	七二
六十二	道路等級	七三
六十三	街路取締規則	七四
六十四	公証人規則	七五
六十五	登記法	七六
六十六	商業及船舶手數料	七七
六十七	登記印紙ヲ以テ納ムル手數料	七八
六十八	印紙類賣下買捌規則	七九
六十九	同上施行細則	八〇
七十	郵便切手賣下人心得	八一
七十一	辯護士法	八二
七十二	利息制限法	八三
七十三	出訴期限規則	八三

七十四	執達吏規則	八四
七十五	同手數料規則	八五
七十六	民事訴訟費用法	八七
七十七	同印紙法	八八
七十八	訴訟書類郵便送達	八九
七十九	商事非訟事件印紙法	九〇
八十	種痘規則	九一
八十一	海外旅券規則	九二

民
日
用
寶
鑑

一 帝國臣民並權利義務(帝國憲法)

日本臣民ハ法律ノ定ムル所ニ依ル

民法人事第七條

日本ハ子ハ父ニテ
母ノ分限ヲ以テ子ノ分限ヲ定ム

父ノ知ルニ依リテ母ノ分限ニ從フ

父母共ニ知ルニ依リテ母ノ分限ニ從フ

日本臣民ハ法律ノ定ムル所ニ依ル

日本臣民ハ法律ニ依リテ居住及移轉ノ自由ヲ有ス

日本臣民ハ法律ニ依リテ逮捕監禁審問處罰ヲ受クルコトナシ

日本臣民ハ法律ノ定メタル裁判官ノ裁判ヲ受クルノ權ヲ奪ハルコトナシ

日本臣民ハ法律ニ定メタル場合ヲ除クノ外其許諾ナクシテ住所ニ侵入セラレ及搜

テ生レタルトキト雖トモ日本人トス
ハ父ノ分限ヲ以テ子ノ分限ヲ定ム
母ノ分限ニ從フ
現ニ日本國內ニ在ル者ハ日本ハトス
定ムル所ノ資格ニ應シ均ク又武官ニ任セラレ及其他ノ公務

ル所ニ從ヒ兵役ノ義務ヲ有ス
ル所ニ從ヒ納税ノ義務ヲ有ス
國內ニ於テ居住及移轉ノ自由ヲ有ス

六日本臣民ハ法律ニ依リテ逮捕監禁審問處罰ヲ受クルコトナシ
七日本臣民ハ法律ノ定メタル裁判官ノ裁判ヲ受クルノ權ヲ奪ハルコトナシ
八日本臣民ハ法律ニ定メタル場合ヲ除クノ外其許諾ナクシテ住所ニ侵入セラレ及搜

索セラル、トナシ

九日本臣民ハ法律ニ定メタル場合ヲ除クノ外信書ノ秘密ヲ侵サル、トナシ
十日本臣民ハ其所有權ヲ侵サル、トナシ公益ノ爲メ必要ナル處分ハ法律ノ定ムル所ニ依ル

十一日本臣民ハ安寧秩序ヲ妨ケス及臣民タルノ義務ニ背カサルノ限ニ於テ信教ノ自由ヲ有ス

十二日本臣民ハ法律ノ範圍内ニ於テ言論著作印行集會結社ノ自由ヲ有ス
十三日本臣民ハ相當ノ敬禮ヲ守リ別ニ定ムル所ノ規程ニ從ヒ請願ヲ爲スヲ得

二 市町村住民公民並權利義務

二十一年四月
法律 第一號

一凡ソ市町村内ニ住居ヲ占ムル者ハ總テ其市町村住民トス

二凡ソ帝國臣民ニシテ公權ヲ有スル獨立ノ男子ニ年以來(一)市町村ノ住民ト爲リ
(二)其市町村ノ負擔ヲ分任シ(三)其市町村内ニ於テ地租ヲ納メ若クハ直接間接年額二圓以上ヲ納ムル者ハ其市町村公民トス其公費ヲ以テ給助ヲ受ケタル後二年ヲ經サル者ハ此限ニアラス但場合ニ依リ市町村會ノ議決ヲ以テ此二年ノ制限ヲ特免スルヲ得

此ニ獨立ノ男子ト稱スルハ滿二十才以上ニシテ一戸ヲ構ヘ且治産ノ禁ヲ受ケサル者ヲ云フ

二凡ソ市町村公民ハ市町村ノ選舉ニ參與シ市町村ノ名譽職ニ選舉セララル、ノ權アリ又名譽職ヲ擔任スルハ市町村公民ノ義務ナリトス左ノ理由アルニ非レハ名譽職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職スルヲ得ス

一疾病ニ罹リ公務ニ堪ヘサル者

二營業ノ爲ニ常ニ其市町村内ニ居ルヲ得サル者

三年齡六十歳以上ノ者

四官職ノ爲メ市町村ノ公務ヲ執ルヲ得サル者

五四年間無給ニシテ市町村吏員ノ職ニ任シ爾後四年ヲ經過セサル者及六年間市町村會議員ノ職ニ居リ爾後六年ヲ經過セサル者

六其他市町村會ノ議決ニ於テ正當ノ理由アリト認ムル者

前項ノ理由ナクシテ名譽職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職シタル者ハ三年以上六年以下市町村公民タルノ權ヲ停止ス

三 衆議院議員

二十二年二月
法律 第二號

一選舉人ハ左ノ資格ヲ備フルヲ要ス

一日本臣民タルノ男子ニシテ年滿二十五才以上ノ者

二選舉人名簿調製ノ期日ヨリ前滿一年以上其府縣内ニ於テ本籍ヲ定メ住居シ仍ホ引續キ住居スル者

三 選舉人名簿調製ノ期日ヨリ前滿一年以上其府縣内ニ於テ直接國稅十五圓以上ヲ納メ仍ホ引續キ納ムル者但所納稅ニ付テハ人名簿調製ノ期日ヨリ前滿三年以上之ヲ納メ仍ホ引續キ納ムル者ニ限ル

家督相續ニ依リ財產ヲ相續シタル者ハ其財產ニ付テ前財產主ノ納稅額ヲ以テ其納稅資格ニ算入ス

二 被選人タルトテ得ル者ハ日本臣民ノ男子滿三十才以上ニシテ選舉人名簿調製ノ期日ヨリ前滿一年以上其府縣内ニ於テ直接國稅十五圓以上ヲ納メ仍ホ引續キ納ムル者タルヘシ但所得稅ニ付テハ人名簿調製ノ期日ヨリ前滿三年以上之ヲ納メ仍ホ引續キ納ムル者ニ限ル

三 左ニ掲クル者ハ被選人タルトテ得ス

一 官内官裁判官會計検査官收稅官及警察官ハ被選人タルトテ得ス

二 前項ノ外ノ官吏ハ其職務ヲ妨ケサル限ハ議員ト相兼ヌルトテ得ス

三 府縣及郡ノ官吏ハ其管轄區域内ニ於テ被選人タルトテ得ス

四 選舉ノ管理ニ關係スル市町村ノ吏員ハ其選舉區ニ於テ被選人タルトテ得ス

五 神官及諸宗ノ僧侶又ハ教師ハ被選人タルトテ得ス

四 左ノ項ノ一ニ觸ル、者ハ被選人及ヒ被選人タルトテ得ス

一 瘋癲白痴ノ者

二 身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ義務ヲ免カレサル者

三 公權ヲ剝奪セラレタル者又ハ停止中ノ者

五 府縣會議員

十三年四月 布告第十五號

一 選舉人ハ滿二十才以上ノ男子ニシテ其郡區内ニ本籍ヲ定メ其府縣内ニ於テ地租五圓以上ヲ納ムル者ニ限ル

二 被選舉人ハ滿三十才以上ノ男子ニシテ其府縣内ニ本籍ヲ定メ滿三年以上住居シ其府縣内ニ於テ地租十圓以上ヲ納ムル者ニ限ル

三 左ノ項ノ一ニ當ル者ハ被選舉人タルトテ得ス

一 瘋癲白痴ノ者

二 舊法ニ依リ一年以上ノ懲役及國事犯禁獄ノ刑ニ處セラレ滿期後五年ヲ經サル者

三 新法ニ依リ公權ヲ剝奪及停止セラレタル者又ハ一年以上輕重禁錮ノ刑ニ處セラレ主刑滿期後五年ヲ經サル者

三 身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ擔償ヲ終ヘサル者

四 官吏(教導官)及陸海軍諸卒現役ノ者(此項ハ被選舉人ニ適用セス)

五 府縣會ニ於テ退職者トセラレタル後四年ヲ經サル者

四 府縣會ノ議員ハ郡區ノ大小ニ依リ每郡區ニ五人以下ヲ撰フ

五 議員ノ任期ハ四年トシ二年毎ニ全數ノ半ヲ改撰ス

六 議長副議長ノ任期ハ二年トシ議員ノ改撰毎ニ公撰スヘシ

- 四 禁錮ノ刑ニ處セラレ滿期ノ後又ハ赦免ノ後滿三年ヲ經サル者
- 五 舊法ニ依リ一年以上ノ懲役者國事犯禁獄ノ刑ニ處セラレ滿期ノ後又ハ後ノ赦免滿三年ヲ經サル者
- 六 賭博犯ニ依リ處刑ヲ受ケ滿期ノ後又ハ赦免ノ後滿三年ヲ經サル者
- 七 擧罪ニ係ル犯罪ニ依リ擧及被擧權ノ停止中ノ者
- 五 陸海軍々人ハ現役中擧權ヲ行フヲ得ス及被擧人タルヲ得ス其休職停職中ニ在ル者亦同シ
- 六 華族ノ當主ハ衆議院議員ノ擧及被擧人タルヲ得ス
- 七 刑事ノ訴ヲ受ケ拘留又ハ保釋中ニ在ル者ハ其裁判確定ニ至ル迄擧權ヲ行フヲ得ス及被擧人タルヲ得ス
- 八 衆議院議員ノ任期ハ四年トス

四 貴族院議員

二十二年二月 勅令第十一號

- 一 貴族院ハ左ノ議員ヲ以テ組織ス
- 一 皇族
- 二 公侯爵
- 三 伯子男爵各其同爵中ヨリ擧セラレタル者
- 四 國家ニ勳勞アリ又ハ學識アル者ヨリ特ニ勅任セラレタル者
- 五 各府縣ニ於テ土地或ハ工商商業ニ付キ多額ノ直接國稅ヲ納ムル者ノ中ヨリ一人ヲ互擧シテ勅任セラルル者

六 市町村會議員

二十一年四月 法律第一號

- 一 市町村公民ハ總テ擧權ヲ有ス但公民權ヲ停止セラル、者及陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ此限ニアラス
- 二 凡ソ内國人ニシテ公權ヲ有シ直接市町村稅ヲ納ムル者其額市町村公民ノ最も多ク納稅スル者三名中ノ一人ヨリモ多キトハ公民タルノ要件ニ當ラスト雖擧權ヲ有ス但公民權ヲ停止セラル、者及陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ此限ニアラス
- 法律ニ依テ設立シタル會社其他法人ニシテ前項ノ場合ニ當ルトキ亦同シ
- 三 擧權ヲ有スル市町村公民ハ總テ被擧權ヲ有ス
- 四 左ニ掲ケル者ハ市町村會議員タルヲ得ス
 - 一 所屬府縣ノ官吏
 - 二 有給ノ市町村吏員
 - 三 檢察官及警察官吏
 - 四 神官僧侶及其他諸宗教師
 - 五 小學校教員
- 其他官吏ニシテ當籤シ之ニ應セントスルハ所屬長官ノ許可ヲ受クヘシ
- 代官人ニ非スシテ他人ノ爲ニ裁判所又ハ其他ノ官廳ニ對シテ事ヲ辨スルヲ得ト得ス者
- 父子兄弟タル者同時ニ議員タルヲ得ス
- 市參事會員ト又子兄弟タルノ緣故アル者亦同シ
- 五 市町村會議員ノ定數ハ左ノ如シ
 - 市會議員……………定員
 - 町村會議員……………定員

人口五萬未滿	三十八	人口千五百未滿	八
同 五萬以上	三十六人	同 五千未滿	十二人
人口十萬以上ノ市ハ五萬ヲ加フ	同	同 一萬未滿	十八人
ル毎ニ二十萬以上ノ市ハ十萬ヲ	同	同 二萬未滿	廿四人
加フル毎ニ三人ヲ増シ六十人ヲ	同	同 二萬以上	三十人
定限トス			

六議員ハ名譽職トス其任期ハ六年トシ毎三年各級ニ於テ其半數ヲ改撰ス

七 徵 兵 令

二十二年一月 法律第一號

- 一 日本帝國臣民ニシテ滿十七才以上四十才迄ノ男子ハ總テ兵役ニ服スルノ義務アルモノトス
- 二 兵役ハ分テ常備兵役後備兵役及國民兵役トス
- 三 常備兵役ハ分テ現役及豫備役トス
 - 現役ハ陸軍ハ三ヶ年海軍ハ四ヶ年ニシテ滿二十才ニ至リタル者之ニ服シ豫備役ハ陸軍ハ四ヶ年海軍ハ三ヶ年ニシテ現役ヲ終リタル者之ニ服ス
- 四 後備兵役ハ五ヶ年ニシテ常備兵役ヲ終リタル者之ニ服ス
- 五 國民兵役ハ滿十七才ヨリ滿四十才マテノモノニシテ常備兵役後備兵役ニ在ラサル者之ニ服ス

六 毎年一月ヨリ十一月マテニ滿二十才トナリタル者ハ其年一月一日ヨリ同月三十一日マテニ書面ヲ以テ戶主ニ非サル者ハ其戶主ヨリ本籍地市町村長ニ届出ヘシ

八 小 學 校 令

二十三年十月 勅令第二百十五號

- 一 兒童滿六歳ヨリ滿十四歳ニ至ル八ヶ年ヲ以テ學齡トス
- 二 學齡兒童ヲ保護スヘキ者ハ其學齡兒童ヲシテ尋常小學校ノ教科ヲ奉ハラサル間ハ就學セシムルノ義務アルモノトス
 - 前項ノ義務ハ兒童ノ學齡ニ達シタル年ノ學年ノ始メヨリ生スル者トス
- 三 學齡兒童ヲ保護スヘキ者ト認ムル者左ノ如シ
 - 明治二十四年十一月文部省令第十六號
 - (一) 父母後見人戶主ハ左ノ順序ニ從ヒ學齡兒童ヲ保護スヘキ者トス
 - 一 父母 二 父母及戶主 父母共ニ戶主ヲササル者
 - 三 後見人 父母死去シタル者又ハ父母生存スルモ失踪神心喪失又ハ其他ノ事故ニ依リ其義務ヲ行フ能ハサル者
 - 四 後見人及戶主 前項ノ場合ニ於テ後見人戶主ヲササル者
 - (二) 授業料及ヒ其他就學ニ關スル費用ハ戶主之ヲ負擔スヘシ
 - (三) 學齡兒童戶主タル者父母後見人ハ左ノ順序ニ從ヒ之ヲ保護スヘキモノトス
 - 一 父母 二 後見人 父母死亡シタル者又ハ父母生存スルモ失踪神心喪失

又ハ其他ノ事故ニ依リ其義務ヲ行フ能ハサル者

(四)前項ノ場合ニ於テ授業料及其他就學ニ關スル費用ハ學齡兒童ヲ保護スヘキ者ニ於テ戸主ノ財産ヨリ之ヲ支辨スヘシ

四貧窮ノ爲メ又ハ兒童疾病ノ爲メ其他止ヲ得サル事故ノ爲メ學齡兒童ヲ就學セシムルヲ能ハサル者ハ學齡兒童ヲ保護スヘキ者ハ就學ノ猶豫又ハ免除ヲ市町村長ニ申立ツヘシ

五學齡兒童ヲ保護スヘキ者ハ其學齡兒童ヲ市町村立小學校又ハ之ニ代用スル私立小學校ニ出席セシムヘシ若シ家庭又ハ其他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修メシメントスル者ハ市町村長ノ許可ヲ受クヘシ

九 戸籍ニ關スル届出方

十九年五月
内務省令第十九號

一出産アリタルトキハ十日以内ニ届出ヘシ

二死亡アリタル者ハ埋葬以前ニ届出ヘシ

三失踪者復歸シ又ハ其行方知レタルトキハ十日以内ニ届出ヘシ

四廢戶主廢嫡改名復姓身分變換其他願濟ノ上戸籍ニ登記スヘキ事項ハ其許可ノ指令ヲ受領シタル日ヨリ十日以内ニ届出ヘシ

五前記ノ事項ハ戸主ヨリ届出ヘシ戸主未定又ハ不在ナル者ハ親族二人以上又ハ其親

ニ關係アル者ヨリ本籍地市町村長ニ届出ヘシ

但本籍地外ニアル者ハ現在地市町村長へ届出且同時ニ本籍地市町村長へ届書ヲ發送スヘシ

六他府縣又ハ他郡區ニ寄留シタル者自己ノ所有地ニ於テハ寄留者ヨリ他人ノ所有地若クハ自己又ハ他人ノ借地借家ニ於テハ寄留者及地主又ハ家主又ハ其地所其家ヲ管理スル者ヨリ十日以内ニ其地市町村長へ届出且同時ニ本籍地市町村長ニ届書ヲ發送スヘシ

七寄留地ヲ去ル者自己ノ所有地ニ於テハ寄留者ヨリ其他ニ於テハ地主又ハ家主又ハ其地其家ヲ管理スル者ヨリ十日以内ニ届出ヘシ
八寄留者本籍地ニ歸リタル者ハ戸主又ハ本人ヨリ十日以内ニ届出ヘシ

十 出版法

二十六年四月
法律第十五號

一凡ソ機械舎密其他何等ノ方法ヲ以テスルヲ問ハス文書圖書ヲ印刷シテ之ヲ發賣シ又ハ頒布スルヲ出版ト云ヒ其文書ヲ著述シ又ハ編纂シ若クハ圖書ヲ作爲スル者ハ著作權ト云ヒ發賣頒布ヲ擔當スル者ヲ發行者ト云ヒ印刷ヲ擔當スル者ヲ印刷者ト云フ

二新聞紙又ハ定期ニ發行スル雜誌ヲ除クノ外文書圖書ノ出版ハ總テ此法律ニ依ルヘシ但專ラ學術技藝統計廣告ノ類ヲ記載スル雜誌ハ此法律ニ依リ出版スルコトヲ得

三 文書圖書ヲ出版スルルハ發行ノ日ヨリ到達スヘキ日數ヲ除キ三日前ニ製本ニ部ニ添ヘ内務省ニ届出ヘシ

四 出版届ハ著作者又ハ其相續者及發行者連印ニテ之ヲ差出スヘシ但非賣品ハ著作者又ハ發行者ノミニテ届出ルコトヲ得

版權ノ保護ナキ文書圖書ヲ出版スルル者クハ著作者又ハ其相續者ヲ知ルヘカラザルルハ其由ヲ記シ發行者ヨリ差出スヘシ

學校會社協會等ニ於テ著作ノ名義ヲ以テ出版スル文書圖書ハ其學校會社協會等ヲ代表スル者發行者ト連印シテ之ヲ届出ヘシ

五 文書圖書ノ發行者ハ文書圖書ノ販賣ヲ以テ營業トスルモノニ限ル但著作者又ハ其相續者ハ發行者ヲ兼スルコトヲ得

六 文書圖書ノ發行者ハ其氏名住所及發行ノ年月日ヲ其文書圖書ノ末尾ニ記載スヘシ

七 文書圖書ノ印刷者ハ其氏名住所及印刷ノ年月日ヲ其文書圖書ノ末尾ニ記載シ住所ト印刷所ト同シカラサル片ハ印刷所ヲモ記載スヘシ

八 書簡、通信、報告、社則、塾則、引札、諸藝ノ番付諸種ノ用紙證書ノ類及寫真ハ三、五、六、七ノ各項ニ據ルヲ要セス

九 一タヒ出版届ヲ爲シタル文書圖書ノ出版ハ出版届ヲ要セスト雖モ若シ改正増減又ハ註解附録繪圖ヲ加ヘタルルハ届出ヲ要ス

十一 版 權 法

二十六年四月 法律第十六號

一 凡ソ文書圖書ヲ出版シテ其利益ヲ專有スル權ヲ版權ト云ヒ版權所有者ノ承諾ヲ經スシテ其文書圖書ヲ翻刻スルヲ僞版ト云フ

二 出版法ニ依リ文書圖書ヲ出版スルモノ及出版法又ハ新聞紙法ニ依リ雜誌ヲ發行スルモノハ總テ此法律ニ依リ其版權ノ保護ヲ受クルコトヲ得

三 版權ノ保護ヲ受ケント欲スルモノハ發行前登錄料トシテ製本六部ノ定價ヲ添ヘ版權登錄ヲ内務省ニ願出ヘシ但六部ノ定價合シテ五十錢ニ滿タサルモノハ五十錢トシ十圓ヲ超フルモノハ十圓トス

版權登錄ノ文書圖書ニハ其定價ヲ記載スヘシ版權登錄後定價ヲ増加スルモノハ其未納額ヲ内務省ニ追納スヘシ但前後通算十圓ニ至テ止ム

四 版權登錄ノ文書圖書ニハ其保護年限間ハ版權所有ノ四字ヲ記載スヘシ其記載セザルモノハ登錄ノ効ヲ失フモノトス

五 版權保護ノ年限ハ著作者ノ終身ニ五年ヲ加ヘタルモノトス若シ版權登錄ノ月ヨリ死亡ノ月マテテ計算シ之ニ五年ヲ加ヘ仍ホ三十五年ニ足ラサルルハ版權登錄ノ月ヨリ三十五年トス

六 版權登錄證書ヲ亡失シタルルハ再下付ヲ乞フコトヲ得但手数料五十錢ヲ納ムヘシ

十二 寫真版權條例

二十年十二月
勅令第七十九號

- 一 凡ソ光線ト藥品ノ作用ニ依リ人物器物景色其他物象ノ眞形ヲ寫シタルモノヲ寫真ト云ヘ寫真ヲ發行シテ其利ヲ專有スルノ權ヲ寫真版權ト云フ
- 二 寫真版權ノ保護ヲ受ケント欲スルモノハ發行前寫真一枚ニ付見本二葉及六葉ノ定價ヲ添ヘ版權登錄ヲ内務省ニ願出ヘシ但人物ノ寫真ハ登錄ヲ俟タズモ其保護ヲ受シルモノトス
- 三 版權登錄ノ寫真ニハ其保護年限間ハ版權所有者ノ氏名住所版權登錄ノ年月ヲ記載スヘシ
- 四 寫真版權保護ノ年限ハ登錄ノ月ヨリ十年トス

十三 脚本樂譜條例

二十年十二月
勅令第七十八號

- 一 演劇脚本及樂譜ハ出版法及版權法ニ依リ之ヲ出版シ及版權ヲ所有スルヲ得

十四 一枚摺曆出版

二十三年十一月
文部省令第二號

- 一 一枚摺曆ニハ左ニ列記スル事項ニ限リ記載スルモノトス

一 年號及紀元ノ年數千支

二 毎月ノ一日

三 日月食並其時間

四 大祭祀日並神社例祭大祝

五 日曜表甲子表庚申表己巳表

六 二十四節氣及雜節

七 新月及滿月

八 前各項ニ相當スル陰曆千支及陰曆ノ朔日千支並

五ニ相當スル陽曆日

以上ノ事項ハ帝國大學ニ於テ編纂スル曆ニ依ルヘシ但前各項ノ外本曆略曆ニ掲載セサル事項ヲ記入スルハ此限ニアラズ

十五 特許條例

二十一年十一月
勅令第八十四號

- 一 新規有益ナル工術機械製造品及合成物ヲ發明シ又ハ工術機械製造品及合成物ノ新規有益ナル改良ヲ發明シタルモノハ此條例ニ依リ特許ヲ受クルコトヲ得
- 二 特許トハ發明者ニ他人ヲシテ其承諾ヲ經スシテ前項ノ發明ヲ製作使用又ハ販賣セシメサル特權ヲ云フ
- 三 左ニ掲クル發明ハ特許ヲ受クルヲ得サルモノトス
 - 一 飲食物
 - 二 醫藥並調合法
- 四 特許ニ關シ出願又ハ請求スル者ハ左ノ手数料ヲ納ムヘシ
 - 一 特許ヲ出願スルトキ
 - 二 發明毎ニ 金 五 圓
- 五 特許ノ賣買讓與共有又ハ書入契約ノ

- 登録ヲ請求スルトキ 同 金三圓
- 三特許証ノ再下付ヲ出願スルトキ 同 金一圓
- 四特許証ノ改訂又ハ明細書中ニ
削除ヲ出願スルトキ 同 金五圓
- 五審判ヲ請求スルトキ 同 金七圓
- 四特許証又ハ改訂特許証ヲ受クル者ハ一証書毎ニ左ノ區別ニ從ヒ特許料ヲ納ムヘシ
一五年ノ特許 金十圓
- 二五年ノ特許 金十五圓
- 一十年ノ特許 金二十圓
- 三十五年ノ特許 金二十圓

十六 意匠條例

二十一年十二月 勅令第八十五號

- 一工業上ノ物品ニ應用スヘキ形狀模樣若クハ色彩ニ係ル新規ノ意匠ヲ露出シタル者
ハ此條例ニ依リ意匠ノ登録ヲ受ケ之ヲ專用スルコトヲ得
- 二左ニ掲クル意匠ハ登録ヲ受クルコトヲ得サルモノトス
一風俗ヲ害スヘキモノ
二登録出願以前公ニ知ラレ又ハ公クニ用非ラレタルモノ
- 三意匠ノ登録ヲ受クントスルモノハ一意匠毎ニ明細書及圖面ヲ添ヘ農商務大臣ヨリ
願スヘシ

- 四意匠専用ノ年限ハ三年五年七年及十年ノ四種トシ原簿登録ノ日ヨリ起算ス
- 五意匠ニ關シ出願又ハ請求スルモノハ左ノ手数料ヲ納ムヘシ
一意匠ノ登録ヲ出願スルトキ 金五十錢
- 二登録意匠ノ賣買讓與共有又ハ書入契約ノ登録ヲ
請求スルトキ 全 上
- 三登録証ノ再下付ヲ出願スルトキ 金三圓
- 四登録証ノ改訂ヲ出願スルトキ 証書一枚毎ニ 金一圓
- 五審判ヲ請求スルトキ 一意匠ニ付物品一類毎ニ 金二圓
- 一事件毎ニ 金七圓
- 七意匠登録証又ハ改訂登録証ヲ受クルモノハ意匠ヲ應用スル物品一類毎ニ左ノ區別
ニ從ヒ登録料ヲ納ムヘシ
一三年ノ専用 金一圓
- 一五年ノ専用 金二圓
- 一七年ノ専用 金四圓
- 一十年ノ専用 金八圓

十七 商標條例

二十一年十二月
勅令第八十六號

- 一 自己ノ商品ヲ表彰スル爲メ商標登錄ヲ使用セント欲スルモノハ此條例ニ依リ其商標ノ登錄ヲ受ケ之ヲ專用スルコトヲ得
- 二 商標ハ特別著名ナル圖形字体又ハ其結合ヲ以テ要部トナスヘシ
- 三 商標專用ノ年限ハ二十年ト爲シ原簿登錄ノ日ヨリ起算ス
- 三 商標ニ關シ出願又ハ請求スルモノハ左ノ手数料ヲ納ムヘシ
 - 一 商標ノ登錄ヲ出願スルトキ 金 一圓
 - 二 登錄商標ノ買讓與又ハ共有契約ノ登錄ヲ請求スルトキ 金 一圓
 - 三 登錄証ノ再下付ヲ出願スルトキ 證書一枚毎ニ 金 三圓
 - 四 登錄証ノ改訂ヲ出願スルトキ 一 商標ニ付商品一類毎ニ 金 一圓
 - 五 審判ヲ請求スルトキ 一事件毎ニ 金 七圓

十八 度量衡法

二十四年三月
法律第三號

- 一 度量ハ尺衡ハ貫ヲ以テ基本トス
- 二 度量衡ノ名稱命位ハ左ノ如シ
 - 度 尺ノ十萬ノ一 厘 尺ノ十分ノ一 分 尺ノ百分ノ一 寸 尺ノ十分ノ一
 - 里 一萬二千九百六十尺(三十六町) 間 六尺 町 三百六十尺(六十間)
 - 地積 勻 歩ノ百分ノ一 合 歩ノ十分ノ一 步或ハ坪 六尺平方 畝 三十步
 - 度 毛 〇、〇〇〇〇〇三(三萬三千分ノ一) 厘 〇、〇〇〇三〇(三萬三千分ノ十)
 - 分 〇、〇〇三〇三(三萬三千分ノ二百) 段 三百步 町 三千步
 - 量 勻 升ノ百分ノ一 合 升ノ十分ノ一 升 六萬四千八百二十七立方
 - 斗 十升 石 百升
 - 衡 毛 貫ノ百萬分ノ一 厘 貫ノ十萬分ノ一 分 貫ノ百分ノ一
 - 匁 貫ノ千分ノ一 貫 斤 百六十匁
- 三 從來慣用ノ鯨尺ハ布帛ヲ度ルトキニ限り之ヲ用非ルコトヲ得
- 鯨尺一尺ハ一尺二寸五分トシ其十倍ヲ鯨尺一丈、十分ノ一ヲ鯨尺一寸、百分ノ一ヲ鯨尺一分トス

四度量衡ヲ製造シ修葺シ若クハ販賣セント欲スル者ハ地方長官ヲ經由シ農商務大臣ニ願出免許ヲ受クヘシ

十九 度量衡ノ製作制限及檢定

二十四年八月 勅令第七十七號

- 一 度量衡器ノ製作修葺又ハ販賣ノ免許ノ年限ハ十五箇年トス
- 二 度量衡器ノ製作修葺又ハ販賣ノ免許ヲ受クルモノハ左ノ免許料ヲ納ムヘシ
 - 度量衡器又ハ衡器ノ製作 金十五圓
 - 修葺 金十二圓
 - 販賣 金五圓

十二 地 租

十七年三月布告第七號
二十二年十一月法律第卅號

- 一 地租ハ地價百分ノ二箇半ヲ以テ一年ノ定率トス
- 二 有租地ヲ區分シテ二類トス
 - 第一類 田、畑、郡村宅地、市街宅地、鹽田、鑛泉地
 - 第二類 池沼、山林、牧場、原野、雜種地
- 三 免租地ハ左ノ如シ

公立學校地、鄉村社地、墳墓地、川邊水路、溜池、堤塘、井溝、鐵道用地、禁伐林、公衆ノ用ニ供スル道路

四 地價ハ地目變換開墾又ハ第一類地ヲ第二類地ニ變換シタル片ニ非サレハ修正セズ

五 租地ハ土地臺帳記名者ヨリ徵收ス但賃入ノ土地ハ其賃取主ニ於テ之ヲ納ムヘシ

二十一 地租徵收期限

二十四年三月 法律第二號

一 地租ノ徵收期限ハ左ノ如シ		
第一期 該年九月一日ヨリ	畑方及宅地	五分
第二期 該年十一月一日ヨリ	山林原野	五分
第三期 該年十二月十六日ヨリ	同	五分
第四期 該年一月十五日限	田方	二分五厘
第五期 該年二月一日ヨリ	同	二分五厘
第六期 該年三月一日ヨリ	田方	二分五厘
第七期 該年三月卅一日限	同	二分五厘

第六期 翌年五月一日ヨリ
同年同月卅一日限

同

二分五厘

二十二

二十一 所得 稅

二十年三月
勅令第五號

一凡ソ人民ノ資産又ハ營業ヨリ生スル所得金高一ク年三百圓以上アル者ハ所得稅ヲ納ムヘシ但同居ノ家族ニ屬スルモノハ總テ戶主ノ所得ニ合算スルモノトス

二左ニ掲ケルモノハ所得稅ヲ課セス
一軍人從軍中ニ係ル俸給
二官私人ヨリ受ル旅費傷痍疾病者ノ恩給金及孤兒寡婦ノ扶助料
三營利ノ事業ニ屬セサル一時ノ所得
二所得稅ノ等級及稅率ハ左ノ如シ

等級	所得金高	稅率
第一等	三萬圓以上	百分ノ三
第二等	二萬圓以上	百分ノ二半
第三等	一萬圓以上	百分ノ二
第四等	千圓以上	百分ノ一
第五等	同	百分ノ一

但所得金高ハ圓位未滿ノ端數ヲ算セズ

四所得稅ハ左ノ二期ニ納ムヘシ

前半年分 該年九月限
後半年分 翌年三月限

五所得稅ヲ納ムヘシ所得金高アルモノハ其年所得ノ豫算金高及種類ヲ記シ毎年四月卅日限居住地ノ町村長ヲ經テ郡市長ヘ届出ヘシ

二十二 酒 造 稅

十三年九月布告第四十號
廿三年七月法律第四十號

一凡ソ酒類ヲ製造シテ營業セントスルモノハ其旨管廳ニ届出酒造場一箇所毎ニ免許證札ヲ受クヘシ

二酒類ヲ分テ左ノ三種トス

- 一類 醸造酒 清酒濁酒其他醸造シタルモノヲ云フ
- 二類 蒸溜酒 燒酎酒精再溜酒精其他蒸溜シタルモノヲ云フ
- 三類 再製酒 銘酒味淋白酒等醸造蒸溜ノ酒類ヲ調和シ又ハ之ヲ元トシテ製造シタルモノヲ云フ
- 三免許稅及造石稅ハ左ノ如シ
酒造免許稅 酒造場一ヶ所ニ付 金三十圓

二十三

酒類造石稅

- 一類一石ニ付 金四圓
- 二類一石ニ付 金五圓
- 三類一石ニ付 金六圓

四免許ハ其年十月一日ヨリ翌年九月三十日迄ヲ以テ一期トス

酒類製造新規願ノモノハ造石高左ノ制限以上タルヘシ

清酒 百石 濁酒 十石 一類ヲ除ク 二類三類 五石

新ニ酒造營業ヲナサントスルモノハ其地方同業者五人以上ノ連印ヲ以テ願出ヘシ

五免許稅ハ鑑札申受ケタル時之ヲ納ムヘシ

六造石稅ハ左ノ四期ニ納ムヘシ

- 第一期 四月十五日限 十月一日ヨリ一月卅一日迄檢査濟石數ニ係ル稅額ノ半數
- 第二期 八月十五日限 二月一日ヨリ五月卅一日迄同上
- 第三期 十一月十五日限 六月一日ヨリ九月三十日迄同上
- 第四期 一月十五日限 前稅額ノ殘數

二十四 自家用料酒

十九年 月 勅令第六十號

二自家用料ノ酒類 飲料ニ用ヒ醬油等ニ混和シテ製造セント欲スル者ハ其旨管廳ヘ届及其他ノ用ニ供スルモノ

出免許鑑札ヲ受ケ鑑札料金八十錢ヲ納ムヘシ

二免許ハ其年十月一日ヨリ翌年九月三十日迄ヲ以テ一期トス

三自家用料ノ清酒ヲ製造スルヲ得ス

四左ニ掲クルモノハ自家用料ノ酒類ヲ製造スルヲ得ス

一酒類受(御小)賣營業者 一飲食店又ハ旅館營業者

一前二項ノ營業者ト同居ノ者

五自家用料ノ酒類ハ一家内ニ於テ一期製造高一石ハ其總石數ヲ合算スルヲ得

二十五 醬麴營業稅

十三年九月 布告第四十一號

一凡ソ醬麴ヲ製造シテ營業セント欲スル者ハ其旨管廳ニ願出製造場一ヶ所毎ニ免許鑑札ヲ受ケ一期營業稅トシテ左ノ額ヲ納ムヘシ

醬麴營業稅 金五十圓

二營業免許ハ其年十月一日ヨリ翌年九月三十日迄ヲ一期トス

三免許ヲ受ケタル者ハ其一期中販賣見込ノ石數毎年十月中管廳ヘ届出ヘシ

四販賣ノ節ハ其石數並購求者居所姓名及年月日遺漏ナク帳簿ニ記載シ置キ翌年十月中管廳ヘ届出シ檢査ヲ受クヘシ

二十六 酒精營業稅

二十六年四月
法律第十七號

一 酒精(アルコール)又ハ他物ト混和シタル酒精ヲ販賣スル營業者ヲ分テ左ノ二種トス

甲種營業人

本條ノ物品ヲ製造シ又ハ買入レ之ヲ自用者ニ非サル者ニ販賣スル者

乙種營業人

本條ノ物品ヲ製造シ又ハ甲種營業人ヲ經由セスシテ之ヲ自用者ニ販賣スル者

二 本法ノ營業ヲ爲サントスル者ハ先ツ管廳ノ免許ヲ受クヘシ

三 營業ノ免許ヲ受クル者ハ政府ノ定ムル所ニ從ヒ保証金トシテ十圓以上千圓以下ヲ

現金又ハ國價証券ヲ以テ供託スヘシ

四 免許ヲ受ケタル者ハ左ノ算程ニ從ヒ營業稅ヲ納ムヘシ

甲種營業人

酒精(アルコール)一石ニ付

金廿五圓ノ割

乙種營業人

全

金廿五圓ノ割

營業人ヲ經由セスシテ第一項ノ物品ヲ買取り消費スル者ハ本項ニ準シテ納稅スヘシ

五 營業稅ハ翌年一月三十一日限之ヲ納ムヘシ但廢業スルモノハ其際營業稅ヲ納ムヘシ

二十七 醬油稅

二十一年六月
勅令第四十七號

一 醬油溜ヲ併稱ス製造ノ營業ヲ爲サントスルモノハ管廳ニ願出製造場一ヶ所毎ニ免許證札ヲ受クヘシ但製造人十六歳未満ノ幼年者及瘋癲白痴又ハ瘡啞ナル時ハ後見人ヲ立ツヘシ

二 醬油製造人ハ左ノ營業稅及造石稅ヲ納ムヘシ

營業稅

製造場一ヶ所ニ付一ヶ年

金 五圓

造石稅

醬油ハ諸味溜ハ製成各一石ニ付

金 一圓

三 營業稅ハ一ヶ年ヲ二期ニ分テ之ヲ納ムヘシ

前半年分

其年一月三十一日限
同年七月三十一日限

後半年分
新ニ營業ヲ爲ス者ハ免許證札ヲ受クル其半年分ノ營業稅ヲ納ムヘシ

四 造石稅ハ左ノ三期ニ納ムヘシ但廢業スル者ハ其節之ヲ納ムヘシ

第一期 五月三十一日限

一月一日ヨリ四月三十日迄査定済石數ニ係ル稅額

第二期 九月三十日限

五月一日ヨリ八月卅一日迄同上

第三期 一月卅一日限

九月一日ヨリ十二月卅一日迄同上

五 醬油請買ヲ爲ス者ハ自家用料ノ醬油ヲ製造スルコトヲ得ス其同居者亦同シ

後半年分 同七月一日同

同 七月三十一日限

但雇人増加シタルトキハ該期ノ増税ヲ納ムヘシ

七菓子製造人ハ製造税トシテ菓子賣上金高百分ノ五ヲ左ノ期限ニ從ヒ納ムヘシ

第一期 一月一日ヨリ六月三十日迄賣上金高ニ係ル分

其年八月三十一日限

第二期 七月一日ヨリ十二月三十一日迄同上

翌年二月二十八日限

半年分ノ賣上金高三十圓未満ノ者及露店又ハ呼賣ヲ業ト爲ス者ハ其製造税ヲ免除ス

八菓子營業者ハ毎年一月一日七月一日現在雇人ノ員數氏名ヲ取調ヘ其月十五日限又新ニ開業スル者ハ出願ノ非管廳ニ届出ヘシ但増員アル片ハ其時々之ヲ届出ヘシ

九菓子製造人ハ毎年其製造高及賣上金高ヲ管廳ヘ届出ヘシ但露店又ハ呼賣ヲ業ト爲ス者ハ此限ニアラス

一月一日ヨリ六月三十日迄ノ分

其年七月十五日限

七月一日ヨリ十二月卅一日迄ノ分

翌年一月十五日限

二十九 煙草税

廿一年四月 勅令第二十號

一 煙草營業者ヲ分テ左ノ三種トス

煙草製造人

葉煙草ヲ買受テ刻煙草又ハ卷煙草ヲ製造スルモノ

煙草仲買人

葉煙草ヲ買受ケ又ハ人ノ依頼ニ由リ之ヲ煙草製造人又ハ同業者ニ賣渡スモノ

製造煙草ヲ買受ケ又ハ人ノ依頼ニ由リ之ヲ煙草小賣人又ハ同業者ニ賣渡スモノ

煙草小賣人

製造煙草ヲ煙草製造人又ハ煙草仲買人ヨリ買受ケ之ヲ自用者ニ賣捌クモノ

二 煙草營業ヲ爲サントスルモノハ管廳ニ願出營業場一ヶ所毎ニ免許鑑札ヲ受クヘシ但營業者未丁年瘋癲白痴又ハ瘡啞ナルトキハ後見人ヲ立ツヘシ

三 煙草製造營業ノ免許ヲ受クルモノハ正實ニ營業ヲ爲シ此税則ヲ遵守スヘキヲ証スル爲メ証約狀ヲ官廳ニ差出スヘシ

四 煙草營業者煙草ノ仕人出賣ヲ爲シ又ハ家族雇人ヲシテ之ヲ爲サシムル非ハ管廳ニ

申出鑑札ヲ受置キ之ヲ携帯シ又ハ携帯セシムヘシ

五 鑑札ヲ受クルモノハ左ノ鑑札料ヲ納ムヘシ

煙草營業鑑札料 一枚ニ付金廿錢 同仕入出賣同各十錢

六 煙草營業者ハ各左ノ營業税ヲ納ムヘシ

煙草製造營業税 營業場一ヶ所ニ付一ヶ年 金十五圓

同 仲買 同 金十五圓

同 小賣 同 金五圓

七煙草營業稅ハ毎年兩度ニ區分シ之ヲ納ムヘシ

前半年分 一月三十一日限

後半年分 七月三十一日限

但新ニ營業鑑札ヲ受クルモノハ其節額半年分ノ營業稅ヲ納ムヘシ

八煙草製造人煙草ヲ製造シタルキハ其定價十分ノ二ノ割合ヲ以テ煙草印紙ヲ照用スヘシ

九製造煙草ハ一定ノ包裹ヲ施シテ之ヲ密封シ自己ノ印章ヲ以テ其照用印紙ニ消印スヘシ

三十 証券印稅

十七年五月 布告第十一號

一凡ノ財産ノ受授契約ノ証明ニ用ニル証券帳簿ハ印紙ヲ貼用スヘシ

二左ニ記載スル証券帳簿ト効用ヲ同フスルモノハ其名稱ニ拘ハラズ稅率ニ照シ相當ノ印紙ヲ貼用スヘシ

三証券帳簿ニ稅率ノ異ナルモノヲ雜記スルキハ各相當ノ印紙ヲ貼用スヘシ

四証券帳簿ニ外國貨幣ヲ以テ員數ヲ記載スルキハ內國ノ貨幣ニ改算シタル金高ヲ付

記シ相當ノ印紙ヲ貼用スヘシ
五証券帳簿ヲ分テ二類トシ其稅率ハ左ノ如シ

第一類

左ニ掲クル所ノ証券帳簿ハ金高ノ多寡ニ拘ハラズ下ニ定ムル所ノ印紙ヲ貼用スヘシ

但當座預金引出切手ハ大藏省ニ稅印ノ押捺ヲ乞フコトヲ得
當座預金引出小切手 印稅 金五圓

委任狀 全 金五圓
金高記載ナキ約定証文 全 金一圓

遺物証文 全
跡式讓渡証文 全

讓與証文 全
無期限預リ金証文 全

耕地小作地証文 全
屬人請合狀 全

金高記載ナキ預リ金証文 全
金高記載ナキ諸物品借用証文 全

地所預リ証文 全
家屋預リ証文 全

諸物品切手 全
借地証文 全
借家証文 全
賣買仕切書 全
保險証文 全

金高二千圓以上二千五百圓未滿
 金高二千五百圓以上三千圓未滿
 金高三千圓以上三千五百圓未滿
 金高三千五百圓以上四千圓未滿
 金高四千圓以上

印稅 六十錢
 全 七十錢
 全 八十錢
 全 九十錢
 全 一圓

右証書ヲ通帳トナスルハ其付込見積金高ニ隨ヒ下ニ定ムル所ノ印紙ヲ貼用スヘシ

金高百圓未滿

印稅 四錢

金高百圓以上總テ諸證書ノ稅率ニ據ルヘシ

金銀幣座預リ證文

質物預リ書札

金高一圓以上二十圓未滿

印稅 一錢

金高二十圓以上

全 二錢

右諸證書ヲ通帳ト爲スルハ其付込見積金高ニ從ヒ下ニ定ムル所ノ印紙ヲ貼用スヘシ

金高百圓未滿

印稅 二錢

金高百圓以上

全 四錢

替爲手形
 荷爲替手形

約束手形

金高五十圓未滿
 金高五十圓以上百圓未滿
 金高百圓以上二百圓未滿
 金高二百圓以上五百圓未滿
 金高五百圓以上千圓未滿
 金高千圓以上二千圓未滿
 金高二千圓以上

印稅 一錢
 全 二錢
 全 四錢
 全 八錢
 全 十五錢
 全 廿五錢
 全 五十錢

六印紙ノ貼用ヲ要セサル證書帳簿ハ左ノ如シ

- 一官廳ヨリ差出ス證書帳簿
- 二官吏准官吏若クハ布告布達ヲ以テ定メタル職員若クハ公私立學校病院ニ從事スルモノ各其職務ニ依テ用フル證書
- 三國庫金取扱所又ハ替爲方ヨリ管廳ニ差出ス預リ金ニ對スル抵當証書
- 四國庫金取扱所又ハ替爲方ヨリ管廳ヨリ對シタル諸上納金ノ預リ證書帳簿
- 五金圓配載アル管廳ヨリノ命令書ニ對シ國庫金取扱所又ハ替爲方ヨリ差出ス證書
- 六諸上納ニ付國庫金取扱所又ハ爲替方ヨリ納入ヘ差出ス請求書
- 七罹災救助金獻金寄付金ニ關シ人民ヨリ管廳ヘ差出ス証書
- 八切手手形類ノ裏面ニ配載シタル受取書

三十一 賣藥稅

十年一月
布告第七號

- 一 賣藥トハ丸散膏藥煉藥水藥浴劑散藥煎藥等ヲ調製シ効能書ヲ付シ販賣スルモノヲ云フ
- 二 賣藥營業者ハ藥味分量用法服量効能ヲ詳記シタル書ニ族籍氏名ヲ記シ其管應ニ願出製造所一ヶ所毎ニ免許鑑札ヲ受クヘシ
- 三 賣藥營業者ハ左ノ税金並鑑札料ヲ納ムヘシ
 - 營業稅 藥劑一方ニ付 一ヶ年 金一圓
 - 鑑札料 一枚ニ付 金二十錢
- 四 鑑札料ハ鑑札下付ノ節之ヲ納メ營業稅ハ左ノ二期ニ之ヲ納ムヘシ
 - 前半年分 一月三十一日限
 - 後半年分 七月三十一日限
- 五 税金ハ六月以前免許ノ者ハ一ヶ年分七月以降ハ半年分ヲ納ムヘシ

三十二 賣藥印紙稅

十五年十月
布告第五十七號

- 一 賣藥ニハ必ス定價ヲ付記シ其定價ニ從ヒ營業者ニ於テ左ノ割合ヲ以テ相當印紙ヲ貼用スヘシ
- 一定價一錢迄 印稅 一厘

一全 二錢迄	全	全	全
一全 三錢迄	全	全	全
一全 五錢迄	全	全	全
一全 十錢迄	全	全	全
以上總テ五錢迄毎ニ五厘ヲ增加ス	全	全	全

三十三 船稅

十六年四月
布告第十三號

- 一 船舶所有者ハ其定繫場ヲ定メ定繫場所在ノ地方關へ願出檢査ヲ受ク鑑札ヲ乞フヘシ
- 二 船舶ノ稅率ハ左ノ如シ
 - 西洋形蒸氣船 百圓ニ付一ヶ年 金十五圓
 - 同 風帆船 同 金十圓
 - 日本形船積石 同 金三十錢
 - 五十石未満 同 金三十錢
 - 解船小廻船 同 金三十錢
- 但三間以上一間ヲ加フル毎ニ二十五錢ヲ増ス
- 遊船 長自船梁三間迄 一ヶ年 金五十錢
- 至船梁三間迄 一ヶ年 金五十錢

三本鑑札又ハ假鑑札ハ航行若クハ回漕ノ非之ヲ本船ニ所持スヘシ
 四税金ハ左ノ二期ニ納ムヘシ
 前半年分 (一月一日ノ現在ニ依リ) 一月三十一日限
 後半年分 (七月一日ノ現在ニ依リ) 七月三十一日限
 五免稅船ハ左ノ如シ
 倉庫船 水田ノ耕作ニ用ユル船 水災ノ爲メ陸地ニ備ヘ置船橋梁ニ換ヘ渡船
 ノミニ用ユル船 船橋ノ組成ニ用ユル船
 航漕中本船ニ揚ケ置ク傳馬船(ハツテラ)

三十四 車 稅

八年二月 布告第廿七號

- 一新調ノ車ハ管廳ヘ届出必ス檢印ヲ受クヘシ
- 二新調ノモノハ六月以前ハ全年分七月以降ハ半年分ヲ納ムヘシ
- 三車ノ稅率ハ左ノ如シ但耕作一途ノ荷積車ハ其稅ヲ免ス
 - 馬車 二正立以上 一ケ年稅金 金三圓
 - 全 一正立 金二圓
 - 荷積馬車 全 金一圓
 - 八力車 二人乘 全 金二圓

- 全 一人乘 全 金一圓
- 牛車 全 金一圓
- 荷積大七八八車(縱橫相乘十四尺以上) 全 金一圓
- 全 中小車(大六以下) 全 金一圓
- 四税金ハ左ノ二期ニ納ムヘシ
 - 前半年分 二月三十一日限
 - 後半年分 七月三十一日限

三十五 牛馬賣買免許稅

五年十一月 布告第百卅號

- 一牛馬賣買渡世ノ者ハ牛馬一鼻綱ニ付免許鑑札一枚ヲ願受クヘシ但一鼻綱ハ牛馬共七疋ニ限ル
- 二鑑札料ハ一枚ニ付一ケ年金十圓トス
- 但鑑札書換手續料ハ一枚ニ付金二十錢トス
- 三免許鑑札ヲ受ケタル者ハ六月以前ハ全年分七月以降ハ半年分ヲ納ムヘシ
 - 前半年分 一月三十一日限
 - 後半年分 七月三十一日限

三十六 鑛業稅

二十三年九月
法律第八十七號

一 鑛業トハ鑛物ノ試掘採掘及之ニ付屬スル事業ヲ云フ鑛物ノ未タ採掘セラレサル者ハ國ノ所有トス

鑛物トハ金鑛(砂金ヲ除ク)銀鑛銅鑛鉛鑛錫鑛(砂錫ヲ除ク)安質母尼鑛水銀鑛亞鉛鑛鐵鑛(砂鉄ヲ除ク)硫化鉄鑛滿奄鑛砒鑛黑鉛石炭石油及硫黃ヲ云フ

二 帝國臣民ニアラザレハ鑛業人トナリ又ハ鑛業ニ關スル組合員又ハ會社ノ株主トナルコトヲ得ス

三 鑛業稅及鑛區稅ハ左ノ如シ

鑛業稅

鑛業製物ノ價格

百分ノ二

鑛區稅

一千坪毎ニ一ケ年

金三十錢

但一千坪未滿ノ端數ニ對スル鑛區稅ハ免除ス

鉄鑛ヲ採掘スルモノニハ鑛業稅ヲ課セス

四 鑛業稅並鑛區稅ノ納期ハ左ノ如シ

鑛業稅(前年分)

翌年三月三十一日限

但鑛業ノ年ニ係ルモノハ鑛業ノ日ヨリ六十日以内ニ納ムヘシ

鑛區稅(一年分)

前年十二月十五日限

但初年ニ係ルモノハ月割ヲ以テ採掘出願特許ノ日ヨリ六十日以内ニ之ヲ納ムヘシ

何レモ鑛業ノ年ニ係ルモノハ返付セス

三十七 取引所稅

二十六年三月
法律第六號

一 取引所ハ定期買賣ニ付左ノ割合ニ從ヒ税金ヲ納ムヘシ

一 商品、有價証券

買賣約定代金高

萬分ノ六個

二 國債及地方債証券

同

萬分ノ三個

二 定期内ニ於ケル轉賣人ノ賣高及買戻人ノ買高ニ係ル税金ハ之ヲ免除ス

三 賣買ヲ解約スルコトアルモ其税金ハ之ヲ免除セス

四 税金ハ每一ケ月分ヲ翌月二十日限之ヲ納ムヘシ

三十八 府縣稅

十三年四月
布告第十六號

一 府縣稅ハ左ノ目ニ依リ徵收ス

一 地租三分一以内

一 營業稅並雜種稅

一 戶數割

三十九 營業稅及雜種稅 十三年四月 布告第十六號

一營業稅ヲ課スヘキ種類左ノ如シ
 但國稅アルモノハ課稅ノ限ニアラス

商業
 工業

二雜種稅ヲ課スヘキ種類左ノ如シ
 料理屋 待合茶屋 遊船宿 芝居茶屋 飲食店 湯屋 理髮人 雇人受宿 遊藝
 師匠 遊藝稼人 相撲 俳優 帮間 藝妓 市場 演劇 興行 遊覽所 遊技場
 人寄席 船車 水車 乘馬 屠畜 漁業 採藻
 但船車ハ國稅ノ半額以內トス

四十 營業稅及雜種稅ノ稅率

一營業稅雜種稅ノ課額ハ毎年府縣會ノ議決ヲ經府縣知事之ヲ定ム

營業稅

商業
 第一類 卸賣、仲買、小賣、質屋、貸金、兩換店、問屋、古物、古物商、旅館、物品損
 料貸、席賃、請負、通運會社、陸運業、牛馬會社、回酒店、其他雜種

以上土地ノ等級ニ依リ營業者一個ノ稅率三分乃至三個トス

第二類 廻船營業	(積載ノ噸石數ニ依リ稅率ヲ定ム)	稅率	貳個及壹分五厘
第三類 貸金會社	(資本金高ニ依ル)	同	壹個五分
第四類 商業會社	商金高千圓ニ付 收益金百圓ニ付	貳	個
工業		壹	個
第五類 工業會社	同上	同	個
第六類 職工	一人ニ付	四	分
第七類 寫具師	(土地ノ等級ニ依リ)	貳	個乃至
雜種稅		五	個
料理屋	(土地ノ等級ニ依リ)	三分	五厘乃至
飲食店	同	七	個
待合茶屋	一斤ニ付	貳	分五厘乃至
遊船宿	同	貳	個
芝居茶屋	同	金	五十錢
湯屋	同	金	五十錢
		同	金五十錢

三等	同四錢未滿二錢以上	同	金二十五錢
四等	同二錢未滿	同	金十五錢
遊覽所	一ヶ所ニ付	取上高	百分ノ七
遊技場	同	月稅	金二十錢
人寄席	(土地ノ等級ハ商業ニ準ス)	年稅	金十五圓
一等地	一ヶ所ニ付	同	金十二圓
二等地	同	同	金十圓
三等地	同	同	金七圓
四等地	同	同	金五圓
五等地以下	同	同	國稅ノ半額
船	但自用馬車人力車ハ國稅ノ同額ヲ課ス	同	同
水車	同	年稅	金五錢
搗臼	一ヶ所ニ付	同	金十五錢
挽臼	同	年稅	金一圓
紡績	生糸取付 一口ニ付	同	金一圓
製織	綿糸取付 一口ニ付	同	金一圓

乘馬	一頭ニ付	同	金二圓
自用	同	同	金一圓
營業用	同	同	金一圓
牛	同	同	金五十錢
羊豚類	同	同	金二十五錢
漁業	同	同	同
採炭	取上高 百分ノ三	同	同

藥、鮭川稅ハ一ヶ所ニ付漁獲高百分ノ五トス
其他ハ網ノ種類ニヨリ年稅五錢乃至二圓五十錢トス

四十一 貸坐敷引手茶屋及娼妓ノ賦金 二十一年八月 閣令第十二號

一 貸坐敷引手茶屋及娼妓ノ賦金ハ府縣知事適宜ニ之ヲ賦課シ地方稅中雜收入ニ歸入ス

四十二 貸坐敷及娼妓取締規則

廿一年二月 縣令甲第二十號

一 貸坐敷業ハ左ノ地内ノ免許地ニ限リ娼妓稼ハ貸坐敷内ニ限リ
新潟市

古町通五、六、七、八、九番町 西堀前通六、七、八、九番町

東堀前通十三番町 本町通十三、十四番町 南北島砂門町

北浦原郡 新登田旭町 中條町

東浦原郡 津川町 裏館村

南浦原郡 三條町 五泉町

中浦原郡 新津町 寺泊町

三嶋郡 出雲崎町 草生津町 千手町村

古志郡 石内町 扇町 大嶋町

刈羽郡 柏崎長町 直江津 中嶋町 出村町

中頸城郡 高田横町 新川端町 下新町 出村町

佐渡三郡 相川水金町 二見村 小水町 湊町 夷町

二 貸坐敷業ハ滿一年以上休業スルモハ免許ノ効ヲ失フモノトス

三十五年ニ滿タサル婦女ハ娼妓トナルコト得ス

四 貸坐敷ノ賦金額ハ左ノ如シ

貸坐敷家屋

二百坪以上

市賦金

郡賦金

百坪以上

同

市賦金

郡賦金

五十坪以上

同

市賦金

郡賦金

五十坪未満

同

市賦金

郡賦金

五 娼妓ノ賦金額ハ左ノ如シ

娼妓一夜揚代金

市賦金

郡賦金

八十錢以上

市賦金

郡賦金

六十錢以上

市賦金

郡賦金

十四錢未満

市賦金

郡賦金

六 開廢業ハ其月十五日ヲ以テ區分シ全額又ハ半額ヲ納ムヘシ

娼妓ハ疾病其他ノ事故ニ依リ一ヶ月内休業日數十五日ニ滿ルモノハ賦金半額全月

ニ渉ル者ハ同全額ヲ免除ス

七 賦金ハ前月分ヲ翌月五日限所轄警察署又ハ分署ニ納ムヘシ

四十三 府縣稅徵收期限

廿四年八月 縣令甲第五十四號

一 府縣稅ノ徵收期限ハ左ノ如シ

地租割(一期) 三月一日限
 戸數割(二期) 九月一日限
 營業稅(一期) 四月十五日限
 雜種稅(二期) 十月十五日限
 雜種稅(三期) 其月二十日限
 雜種稅(中月稅) 每月 其時々
 演劇、興行、市場、屠畜

四十四 市町村稅

廿一年四月 法律第一號

- 一 市町村稅トシテ賦課スルヲ得ヘキ目左ノ如シ
 - 同稅府縣稅ノ附加稅
 - 直接又ハ間接ノ特別稅
 - 附加稅ハ直接ノ國稅又ハ府縣稅ニ附加シ均一ノ稅率ヲ以テ市町村ノ全部ヨリ徵收スルヲ常例トス
 - 特別稅ハ附加稅ノ外別ニ市町村限稅目ヲ起シテ課稅スルヲ要スルトキ賦課徵收スルモノトス
- 二 前項ノ外使用料手数料及從前ノ區町村費ニ關スル細則ハ市町村條例ヲ以テ之ヲ規定スヘシ
- 三 三ヶ月以上市町村內ニ滞在スル者ハ其市町村稅ヲ納ムルモノトス

- 但課稅ハ滞在ノ初メニ溯リ徵收スヘシ
- 四 市町村內ニ住居ヲ構ヘス又ハ三ヶ月以上滞在スルコトナシト雖モ市町村內ニ土地家屋ヲ所有シ又ハ營業ヲ爲ス者(店舖ヲ定メサル行商ヲ除ク)ハ其土地家屋營業若クハ其所得ニ對シテ賦課スル市町村稅ヲ納ムルモノトス其法人タルトキ亦同シ
- 但郵便電信及官設鐵道ノ業ハ此限ニアラス
- 五 所得稅ニ附加稅ヲ賦課シ及市町村內ニ於テ特別ニ所得稅ヲ賦課セントスルトキハ納稅ノ町村外ニ於ケル所有ノ土地又ハ營業(店舖ヲ定メサル行商ヲ除ク)ヨリ收入スル所得ハ之ヲ控除スルモノトス
- 六 各市町村內ニ住居ヲ構ヘ又ハ滞在スル者ニ前項ノ市町村稅ヲ賦課スルトキハ其所得ヲ各市町村ニ平分シ其一部分ノミニ課稅スヘシ
- 但土地家屋又ハ營業ヨリ收入スル所得ハ此限ニアラス
- 七 所得稅法ニ依リ所得稅ヲ課セサル所得稅ハ市町村稅ヲ免除ス

四十五 取引所法

廿六年三月 法律第五號

- 一 買賣取引ノ繁盛ナル地區內ノ商人ハ政府ノ免許ヲ受ケテ一種若クハ數種ノ物件ノ取引所ヲ設立スルヲ得
- 二 同種ノ物件ヲ買賣取引スル取引所ハ一地區內一ヶ所ニ限り設立スルヲ得但其他

區ハ農商務大臣之ヲ定ム

- 三 取引所ノ免許年限ハ十ヶ年トス
- 但土地商業ノ情況ニ依リ更ニ繼續ノ出願ヲ爲スヲ得
- 四 株式會社組織ノ取引所ハ營業保証金ヲ政府ニ納ムヘシ
- 五 本法ハ本年十月ヨリ施行ス

四十六 狩獵規則

廿五年十月 勅令第八十四號

- 一 此規則ニ於テ狩獵ト稱スルハ銃器各種ノ網、放鷹、網繩、又ハ撲ヲ以テ鳥獸ヲ捕獲スルヲ云フ
- 二 爆發物、据銃若クハ危險ナル民及陷穽ヲ以テ狩獵ヲ爲スヲ得ス日出前日没後又ハ市街、人家稠密ノ場所衆人群集ノ場所ニ於テ若クハ銃丸ノ達スヘキ處アル建物、船舶、汽車ニ向テ銃獵ヲ爲スヲ得ス
- 三 左ニ掲クル場所ニ於テハ狩獵ヲ爲スヲ得ス
 - 一 御獵場
 - 二 禁獵制札アル場所
 - 三 公道
 - 四 公園
 - 五 社寺境内
- 六 墓地
- 七 柵欄圍障ヲ設ケ又ハ作物植付アル他人ノ所有地但所有主又ハ管理者ノ承諾ヲ得タルキハ此限ニ非ス
- 四 狩獵ヲ爲サントスル者ハ地方長官ニ願出免狀ヲ受クヘシ但柵欄、圍障アル宅地内ニ於テ銃器ヲ使用セスシテ狩獵ヲ爲ス者ハ此限ニ非ス

五 免狀ヲ分テ二種トス

- 一 獵獵免狀 生計ノ爲メ狩獵ヲ爲ス者ニ下付ス
- 二 遊獵免狀 遊樂ノ爲メ狩獵ヲ爲ス者ニ下付ス
- 六 左ニ掲クルモノハ職獵免狀ヲ受クルヲ得ス
 - 一 判任以上ノ官吏及其待遇ヲ受クル者
 - 二 所得稅ヲ納ムル者
 - 三 地租十五圓以上ヲ納ムル者
 - 四 所得稅十五圓以上ヲ納ムル者ノ家族
- 七 免狀ヲ受クルモノハ左ノ區別ニ從ヒ免許料ヲ納ムヘシ

職獵免狀	甲種	金五十錢
	乙種	金一圓
遊獵免狀	甲種	金五圓
	乙種	金十圓

- 八 甲種免狀ハ銃器ヲ使用セスシテ狩獵ヲ爲スモノニ下付シ乙種免狀ハ銃器ヲ以テ之ヲ爲スモノニ下付ス
- 八 甲種免狀ノ有効期限ハ十月十五日ヨリ滿一年トシ乙種免狀ノ有効期限ハ十月十五日ヨリ翌年四月十五日限リトス
- 九 左ニ掲クル鳥獸ハ捕獲スルヲ得ス
 - 一 鶴、各種燕、各種雲雀、鶉、鶉、四十雀、日雀、五十雀、蒼雀、鷓鴣、杜鵑、啄木鳥、鶉、掠鳥、田鴉、一歲以下ノ鹿

四十九 稅關手數料

二十三年九月
大藏省令第二十二號

一 稅關平日貨物積卸特許手數料	日沒ヨリ日出マテ	每一時間	金一圓五十錢
二 同休日貨物積卸特許手數料	日出ヨリ日沒マテ	每一時間	金一圓
	日沒ヨリ日出マテ	每一時間	金一圓五十錢
三 稅關平日臨時開關特許手數料	午後四時ヨリ同六時マテ	金十五圓	
	午後四時ヨリ十二時マテ	金四十五圓	
	午後四時ヨリ十二時過クルル	金九十五圓	
	午前六時ヨリ同十時マテ	金二十圓	
四 稅關休日臨時開關特許手數料	但前日ヨリ引續キ開關ノ場合ハ此限ニテ		
	午前十時ヨリ午後四時マテ	金二十五圓	
	午前十時ヨリ午後六時マテ	金四十圓	
	午前十時ヨリ午後十二時マテ	金七十圓	
	午前十時ヨリ午後十二時過クルル	金百二十圓	
	午前六時ヨリ午後十時マテ	金二十圓	

但全上

五 稅關出張所平日貨物積卸特許手數料	日沒ヨリ日出マテ	每一時間	金七十五錢
六 稅關出張所休日貨物積卸特許手數料	日出ヨリ日沒マテ	同	金五十錢
	日沒ヨリ日出マテ	同	金七十五錢
七 稅關出張所平日及休日臨時開關特許手數料	日出ヨリ日沒マテ	同	金一圓
	日沒ヨリ日出マテ	同	金一圓五十錢

五十 郵便條例

十五年十二月
布告第五十九號

- 一 郵便物ヲ分テ四種トス
- 一 書狀
 - 二 郵便端書及往復葉書
 - 三 毎月一回以上發行スル定時印刷物及其付録
 - 四 書籍、帳簿、各種ノ印刷物、寫真、書籍、繪圖、報紙、營業品ノ見本及雛形、農産物種子
 - 五 封緘シタル郵便物ハ第一種郵便物トナスヘシ

- 三 第二種郵便物ヲ他種ノ郵便物ト合装スルトキハ總テ第一種郵便物トナスヘシ
- 四 第三種郵便物ハ其發行入ヨリ定時印刷物ナルコトヲ証シテ遞信省ノ認可ヲ受ケ遞信省認可ノ文字ヲ印刷スヘシ
- 五 第三種第四種郵便物ハ封緘セサルモノトス
- 六 第三種第四種郵便物ニ音信文又ハ暗號隱語ヲ筆書スルキハ第一種郵便物トナスヘシ
- 七 營業品ノ見本及雛形ハ雙方又ハ一方ノ營業者ト往復スル者ニ限ル
- 八 郵便物ノ重量ハ郵便切手封皮帶紙ノ重量ヲ合算スルモノトス
- 九 第三種第四種郵便物ハ一個ノ重量三百匁ヲ超過スヘカラス但營業品ノ見本及雛形ヲ除ク
- 十 營業品ノ見本及雛形ハ一個ノ重量百匁ヲ超過スヘカラス
- 十一 郵便物ノ大サハ曲尺ニテ長一尺二寸幅八寸厚五寸ヲ限ル
- 十二 左ニ掲クルモノハ郵便物トナスヘカラス
 - 一 毒藥、劇藥、爆發燃燒シ易キ物品
 - 二 流動物、流動腐敗シ易キ物、解化スヘキ物及動物、植物、鋒刀器、硝子器、陶器等
 - 三 風俗ヲ害スヘキ文書、畫圖、寫真及物品
 - 四 金銀寶玉
 - 五 貨幣(貨幣郵便ノ手續ヲ經ルモノハ此限ニアラス)
- 十三 郵便稅ハ郵便物ノ種類ニ依リ其額ヲ定ム

- 第一種郵便物 重量二匁毎 (二匁未滿亦同) 二 錢
- 第二種郵便物 葉書 一葉 一 錢
- 往復葉書 一葉 二 錢
- 一號一個重量十六匁毎ニ 二 錢
- 二號又ハ二ケ以上一束重量十六匁毎 二 錢
- 重量三十匁毎ニ 二 錢
- 第三種郵便物 重量三十匁毎ニ 二 錢
- 第四種郵便物 重量三十匁毎ニ 二 錢
- 十四 郵便稅ハ郵便切手ヲ其郵便物ニ貼付スヘシ
- 十五 郵便稅ニ過納アルモ其稅額印面ニ消印後ハ還付セス
- 十六 未納稅又ハ不足稅ノ郵便物ハ受取人ヨリ其額ノ二倍ヲ徵ス
- 十七 受取人其郵便物ヲ受取リタルキハ其納稅ヲ拒ムヘカラス
- 十八 受取人其郵便物ヲ受取ラスシテ差出人ニ還付スルキハ其差出人ヨリ其額ノ三倍ヲ徵スヘシ
- 十九 未納稅又ハ不足稅ノ郵便物配達シ能ハス差出人ニ還付スルキハ其額ノ三倍ヲ徵スヘシ差立前ニ係ルキ亦同シ
- 二十 第三種第四種郵便物ノ重量ヲ超過シタル者及寸尺ヲ超過シタル郵便物ヲ差出人ニ還付スルキハ未納稅又ハ不足稅ノ三倍ヲ徵スヘシ
- 書留郵便
- 廿一 書留郵便物ハ郵便電信局郵便局ノ帳簿ニ登記シ遞送配達ノ受授ヲ証スルモノトス
- 廿二 書留手數料ハ郵便物ノ何種ニ拘ハラス六錢トス

廿三書留郵便物ハ郵便税手数料共前納ニ限ルヘシ

別配達郵便

廿四別配達郵便ハ書留郵便ニ限ルモノニシテ通常配達ノ例ニ拘ハラズ別ニ急送ノ如
達ヲ爲スモノトス

廿五別配達ヲ分テ二種トス

一市内別配達 一市外別配達

廿六市内別配達料ハ東京京都及大坂ハ十錢其他市内ハ六錢トス

廿七市外別配達料ハ配達ノ郵便電信局ヨリ受取人ノ住所ニ至ル路程ニ應テ十八丁毎

ニ六錢トス十八丁未満亦同

廿八別配達ハ郵便税並別配達料共前納ニ限ル

五十一 郵便、電信、爲替並郵便小爲替料

一郵便爲替ハ逓信大臣ノ指定スル郵便電信局郵便局ニ於テ取扱フ
二爲替証書一枚ノ金額ハ三十圓以下トシ端數ハ厘位ヲ限リトス
三爲替料ハ左ノ如シ

金高五圓マテ	四	錢	金高十圓マテ	六	錢
金高二十圓マテ	十	錢	金高三十圓マテ	十五	錢

四 電信爲替料ハ左ノ如シ

金高五圓マテ	二十八	錢	金高十圓マテ	三十	錢
金高二十圓マテ	三十五	錢	金高三十圓マテ	四十	錢

五郵便小爲替証書一枚ノ金額ハ三圓以下トシ端數ハ厘位ヲ限リトス
六替爲料ハ証書一枚ニ付三錢トス
七小爲替ハ差出人ノ指定シタル爲替ヲ取扱フ郵便局ニ於テ換戻スモノトス
八爲替証書ノ効用ハ其証書ノ日付ヨリ六十日ヲ限リトス
但通常爲替ノ効用ハ百二十日トス

五十二 郵便電信受付時限

二十二年十一月 逓信省令第三百十四號

一郵便電信受付時限ハ左ノ如シ

- 但別配達郵便物受付ハ此限ニアラス
- 一毎年三月一日ヨリ十月三十一日迄午前六時ヨリ午後十時迄
- 一毎年十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前七時ヨリ午後十時迄

五十三 小包郵便法

二十五年六月
法律第二號

- 一何等ノ物品ヲ問ハス郵便條例ニ禁シタルモノヲ除ク外小包郵便物トシテ之ヲ郵便ニ差出スヲ得
- 二小包郵便物ハ郵便料ノ外ニ保險料ヲ納付シテ之ヲ價格登記ノ小包郵便物トナスヲ得但し其價格ハ實價ヲ超過スルヲ得ス
- 三小包郵便物ヲ其受取人ニ交付セス又ハ差出人ニ還付セサル前ニ生シタル損害ニ付テハ政府共賠償ノ責ニ任ス
- 四小包郵便物ノ取扱ハ特ニ指定シタル郵便局郵便受取所ニ限ルヘシ
- 五小包郵便物ハ差出人ノ望ニ依リ配達証明又ハ別配達又ハ留置トナスヲ得配達証明又ハ別配達ハ一般ノ規則ニ依リ別ニ相當ノ手續料ヲ徴收ス
- 六小包郵便物ハ表面ニ小包ト記載シ小包郵便局取扱所ニ差出シ其受取證ヲ受クヘシ
- 七小包郵便物ハ送票ニ式ノ如ク記入シ其郵便料並手續料ニ相當スル郵便切手ヲ貼付シ之ヲ添フヘシ但送票用紙ハ郵便局所ヨリ受取ルヘシ

五十四 小包郵便物ノ郵便料並價格登記制限

二十五年六月
勅令第五十七號

- 一 小包郵便料ハ小包郵便物ノ重量及其差立郵便局ヨリ配達郵便局迄ノ里程ニ從ヒ別表ニ依リ之ヲ徴收ス
 - 二 郵便局市外ニ送達スル小包郵便物ハ其重量ニ從ヒ別ニ左ノ郵便料ヲ加稅ス
 - 小包郵便物 一個重量六百匁迄 二 錢
 - 全 一貫匁迄 四 錢
 - 全 一貫五百匁迄 六 錢
 - 三 小包郵便物ノ容積及重量ハ左ノ制限ヲ超過スルヲ得ス
 - 容積 長曲尺二尺幅曲尺二尺厚曲尺二尺
 - 重量 一貫五百匁
 - 四 小包郵便物ノ登附價格ハ金百五十圓ヲ限ル
 - 五 價格登記小包郵便物ノ保險料ハ登記金額一圓マテ七錢トシ一圓以上ハ一圓迄毎ニ一錢ヲ加フ
 - 六 通常小包郵便物ノ損害ニ對シテハ重量百匁ニ付金十錢ノ割合ヲ以テ之ヲ賠償シ其一部分ノ損害ニ對シテハ此制限内ニ於テ其損害ノ多少ニ從ヒ之ヲ賠償ス
- 小包郵便料
- | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|--------|--------|
| 二百匁迄 | 四百匁迄 | 六百匁迄 | 八百匁迄 | 一貫匁迄 | 一貫二百匁迄 | 一貫五百匁迄 |
| 七 錢 | 八 錢 | 十 錢 | 十二 錢 | 十四 錢 | 十七 錢 | 二十 錢 |
| 廿三 錢 | 廿七 錢 | 卅一 錢 | 卅五 錢 | 卅九 錢 | 四十三 錢 | 四十七 錢 |

六十里迄	八錢十二錢	十六錢	二十錢	二十四錢	二十八錢	三十二錢	三十六錢	四十錢	四十四錢	四十八錢	五十二錢	五十六錢	六十錢	六十四錢	六十八錢	七十二錢	七十六錢	八十錢	八十四錢	八十八錢	九十二錢	九十六錢	一百錢
八十里迄	九錢	十四錢	十九錢	二十四錢	二十九錢	三十四錢	三十九錢	四十四錢	四十九錢	五十四錢	五十九錢	六十四錢	六十九錢	七十四錢	七十九錢	八十四錢	八十九錢	九十四錢	九十九錢	一百錢	一百零四錢	一百零八錢	一百一十二錢
百里迄	十錢	十六錢	二十一錢	二十六錢	三十一錢	三十六錢	四十一錢	四十六錢	五十一錢	五十六錢	六十一錢	六十六錢	七十一錢	七十六錢	八十一錢	八十六錢	九十一錢	九十六錢	一百錢	一百零四錢	一百零八錢	一百一十二錢	一百一十六錢
百五十里迄	十一錢	十七錢	二十二錢	二十七錢	三十二錢	三十七錢	四十二錢	四十七錢	五十二錢	五十七錢	六十二錢	六十七錢	七十二錢	七十七錢	八十二錢	八十七錢	九十二錢	九十七錢	一百錢	一百零四錢	一百零八錢	一百一十二錢	一百一十六錢
二百里迄	十二錢	十八錢	二十三錢	二十八錢	三十三錢	三十八錢	四十三錢	四十八錢	五十三錢	五十八錢	六十三錢	六十八錢	七十三錢	七十八錢	八十三錢	八十八錢	九十三錢	九十八錢	一百錢	一百零四錢	一百零八錢	一百一十二錢	一百一十六錢
二百半里迄	十四錢	二十錢	二十五錢	三十錢	三十五錢	四十錢	四十五錢	五十錢	五十五錢	六十錢	六十五錢	七十錢	七十五錢	八十錢	八十五錢	九十錢	九十五錢	一百錢	一百零四錢	一百零八錢	一百一十二錢	一百一十六錢	一百二十錢
三百里迄	十六錢	二十二錢	二十七錢	三十二錢	三十七錢	四十二錢	四十七錢	五十二錢	五十七錢	六十二錢	六十七錢	七十二錢	七十七錢	八十二錢	八十七錢	九十二錢	九十七錢	一百錢	一百零四錢	一百零八錢	一百一十二錢	一百一十六錢	一百二十錢
三百里以内	十八錢	二十四錢	二十九錢	三十四錢	三十九錢	四十四錢	四十九錢	五十四錢	五十九錢	六十四錢	六十九錢	七十四錢	七十九錢	八十四錢	八十九錢	九十四錢	九十九錢	一百錢	一百零四錢	一百零八錢	一百一十二錢	一百一十六錢	一百二十錢
三百里以内	廿一錢	廿七錢	卅二錢	卅七錢	四十二錢	四十七錢	五十二錢	五十七錢	六十二錢	六十七錢	七十二錢	七十七錢	八十二錢	八十七錢	九十二錢	九十七錢	一百錢	一百零四錢	一百零八錢	一百一十二錢	一百一十六錢	一百二十錢	一百二十四錢

五十五 配達証明郵便

廿五年三月 逓信省令第八號

- 一 配達証明郵便ハ郵便局ノ証明ヲ以テ其郵便物ノ正ニ配達シタルヲ証明スルモノナリ
- 二 郵便差出人其郵便物配達ノ証明ヲ得ントスルハ之ヲ差出局所ニ請求スルヲ得
- 三 配達証明書ハ配達局ヨリ之ヲ差出人ニ送付スヘシ
- 四 配達証明郵便ハ替留郵便ニ限り其手数料ハ三錢トス

五十六 郵便貯金條例

二十三年八月 法律第六十三號

- 一 郵便貯金ノ預ケ入ハ貯金簿帳ヲ以テ証トシ其拂戻ハ拂戻證書ヲ以テ証トス
- 二 郵便貯金一人一度ノ預ケ金ハ十錢以上トシ端數ハ厘位ヲ限リトス一人一日ノ預ケ金ハ五十圓以下トス
- 三 郵便貯金一人ノ預ケ金總額ハ元利合セテ五百圓ニ超過スルコトヲ得ス
- 四 郵便貯金ノ利子ハ毎年三月卅一日ヲ期トシ之ヲ計算シ元金ニ加ヘ四月ヨリ更ニ利子ヲ付スヘシ
- 五 郵便貯金ハ之ヲ預リタル月及十錢未滿ノ端數ニハ利子ヲ付セス其拂戻ノ請求アリタルトハ拂戻證書送付ノ月ヨリ利子ヲ付セス
- 六 郵便貯金ノ預ケ人ハ何時ニテモ郵便貯金ノ金額又ハ幾分ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得
- 七 郵便貯金預ケ入ハ最初貯金ノ預ケ入ヲ爲シタル月ヨリ滿一年毎ニ其通帳ヲ逓信省ニ差出シ前期間利子ノ配入ヲ受クヘシ但一年ノ終期四月又ハ五月ニ當ルモノハ之ヲ六月ニ差出スヘシ

五十七 郵便貯金利子ノ割合

二十三年十一月 勅令第二百七十八號

- 一 郵便貯金ノ利子ハ來ル二十四年一月ヨリ一ケ年元金百分ノ四分二厘トス

五十八 電信條例

十八年五月
布告第八號

一凡ソ電報ヲ分テ三種トス

一官報 二局報 三私報

二官報局私報亦分テ七種トス

一通常電報 二至急電報 三退尾電報 四同文電報

五照校電報 六受信電報 七返信料前納電報

三電報ヲ傳送スルノ順序ハ官報ヲ先トシ局報之ニ續キ私報亦之ニ次クモノトス

四遞信大臣ニ於テ法律規則ニ違背シ又ハ治安ヲ妨害シ風俗ヲ擾乱スルモノト認ムル

私報ハ其傳送ヲ停ムヘシ

五電報ヲ受取リタルモノハ電信受取紙ニ時刻ヲ記入シ記名ノ下ニ捺印シ直チニ配達

人ニ交付スヘシ

六電信局ヨリ一里ヲ超ヘサル地ニ配達スル電報ハ手数料ヲ要セス但別配達囑喚配達

解船配達ハ此限ニアラス

七郵便ニテ遞送スル電報ハ郵便稅ヲ納ムヘシ

八受信人電報ノ字句ニ疑惑アリテ尋問ヲ要スルトハ其電報ヲ受取リタルトヨリ二十

四時以内ニ之ヲ請求スルコトヲ得但其料金ヲ假納スヘシ

五十九 電信取扱規則

十八年五月
布達第七號

一和文電報ノ住所氏名ハ字數ニ算入セス歐文電報ノ住所氏名ハ語數ニ算入セス

二國內(一市内ヲ除ク)ヲ通スル電報料左ノ如シ

一和文 片假名十字以内 一音信 金十五錢

十字以内ヲ加フル毎二十錢ヲ増ス

一歐文 五語以内住所氏名共 金十錢

一語ヲ加フル毎二金二錢ヲ増ス

三市内ニ發着スル電報料左ノ如シ

一和文 片假名十字以内 一音信 金五錢

十字以内ヲ加フル毎二金三錢ヲ増ス

一歐文 五語以内住所氏名共 金十錢

一語ヲ加フル毎二金二錢ヲ増ス

四至急官報ノ電報料ハ通常電報料ノ二倍至急私報ハ三倍トス

五退尾電報料ハ退尾一回毎ニ原信電報料ノ半額トス

六同文電報料ハ原信ヲ除クノ外一通毎ニ和文ハ五錢歐文ハ金十五錢トス

七照校電報料ハ原信電報料ノ半額ヲ増ス

- 八受信電報料ハ和文ハ一音信歐文ハ五語ノ料金を増ス
- 九電報受取証書ノ手数料ハ金三錢トス
- 十別配達料ハ九丁毎ニ金三錢トス解船配達料ハ金二十錢トス
- 十一原信正寫ノ手数料ハ和文百字以内毎ニ金二錢歐文百語以内毎ニ金十錢トス

六十 電報局渡規則

二十三年八月 遞信省令第十七號

- 一電報ノ局渡ヲ欲スル者ハ書面ヲ以テ其旨申出ヘシ電信局ハ其申出ニ對シ電報局渡証ヲ交付スヘシ
 - 二電報局渡証ヲ受ケタルモノハ電報局渡料トシテ一ケ年金六圓ヲ納ムヘシ
其料金ハ年額ヲ四分シ一期毎ニ前納スヘシ
- | | | |
|-----|-----------|--------|
| 一 期 | 一月ヨリ三月マテ | 金一圓五十錢 |
| 二 期 | 四月ヨリ六月マテ | 金一圓五十錢 |
| 三 期 | 七月ヨリ九月マテ | 金一圓五十錢 |
| 四 期 | 九月ヨリ十二月マテ | 金一圓五十錢 |

六十一 電報差出方配達人ニ依託規程

廿三年十月 遞信省令第廿一號

- 一返信料前納ノ電報、局待指定ノ電報及郵便電信局ヨリ一里以外ニ配達スル電報ヲ受取リタル者ハ其電報配達人ニ依託シテ電報ヲ差出スコトヲ得但左ニ掲クル電報ハ此限ニアラス
- 一萬國電信條約ニ依リ發送スヘキ電報
- 二返信料ヲ前納スヘキ電報
- 三豫算ヲ以テ料金ヲ納付スヘキ電報
- 四受領証ヲ要スル電報
- 二前項ニ依リ電報ヲ依託スルモノハ配達ヲ受ケタル電信ノ受取紙ニ「電報依託」ノ文字及其料金額ヲ記載シテ之ヲ配達人ニ交付スヘシ
- 三電報ヲ依託スヘキ者電報ノ交付ヲ遅延シ五分時間ヲ超過スル者ハ其交付ヲ俟タスシテ立去ルコトアルヘシ

六十二 道路等級

十八年一月 布達第一號

- 一今般國道ノ等級ヲ廢シ其幅員ハ道敷四間以上並木敷濠坂敷ヲ合セテ三間以上總テ七間ヨリ狭少ナラサルモノトス

六十三 街路取締規則

二十年四月
縣令甲第七十號

- 一 街路ト稱スルハ道敷及道敷ニ沿フタル下水溝橋梁並雁木トス
- 二 自費ヲ以テ爲スヘキ義務ヲ怠ルルハ官ニ於テ執行シ其費用ヲ徵收スヘシ
- 三 街路ニ建物軒檐旗柱招牌物干等ヲ設ケ或ハ出スヘカラス
- 四 左ノ制限ヲ超ヘ街路ニ出スコトヲ得ス
 - 一 釣板ハ地盤ヲ去ル一丈以上ニ限り二尺以内
 - 二 軒檐地盤ヲ去ル九尺以上ハ二尺六尺以上ハ一尺五寸以内トス但雁木ノ軒檐ハ下水ヲ超ヘカラス
 - 三 日除ハ支柱ヲ用非ス地盤ヲ去ル七尺以上ニ限り三尺以内トス但雁木アル場所ハ之ヲ設クルコトヲ得ス
 - 四 揚燈ハ地盤ヲ去ル六尺以上ニ限り三尺以内トス
- 五 街路ニ出タル軒檐ニハ軒檐及堅樋ヲ設クヘシ其堅樋ハ街路ノ地盤ニ設クルコトヲ得ス但檐溜ノ下水ニ落ルモノハ此限ニ非ス
- 六 街路ニ添フタル宅地ニシテ空地アル場所ハ其模様ニ依リ雁木若クハ塙塙ヲ設クヘキモノトス

七 街路ニ用ユル荷車ハ長八尺巾三尺屋簷店ハ長六尺巾二尺ヲ超フヘカラス
 八 街路ハ常ニ清潔ニ掃除ヲ爲シ塵芥雜草ヲ存スヘカラス

六十四 公証人規則

十九年八月
法律第二號

- 一 公証人ハ人民ノ囑托ニ應ジ民事ニ關スル公正証書ヲ作ルヲ以テ職務トナス
- 二 公証人ハ法律命令ニ背キタル事件ノ公正証書又ハ他ノ官吏ノ作ルヘキ公正書類ヲ作ルコトヲ得ス若シ之ヲ作りタルハ公正証書ノ効ヲ有セス
- 三 公証人ノ作りタル公正証書ハ完全ノ證據ニシテ其正本ニ依リ裁判所ノ命令ヲ得テ執行スルカアルモノトス但刑事裁判所ニ偽造ノ訴アルハ其証書ノ執行ヲ中止スヘシ又民事裁判所ニ偽造ノ申立アルハ其証書ノ執行ヲ中止スルコトヲ得
- 四 公証人ハ理由ナクシテ人民ノ囑托ヲ拒ムコトヲ得ス若シ之ヲ拒ミタルハ囑托人ノ求アレハ其理由ヲ記シテ渡スヘシ
- 五 公証人ノ取扱フヘキ書類左ノ如シ
 - 一 原本 証書ノ本紙ニシテ公証人ノ保存スルモノ
 - 二 正本 原本ノ全又ヲ記シタルモノニシテ本文義務ノ執行ヲ裁判所ニ願出ヘキ旨ヲ其末尾ニ記載シタルモノ
 - 三 抄録正本 原本ノ一部分ヲ記シ其末尾前項ニ同シ

四正式謄本 原本ノ全文ヲ抄寫シタルモノニシテ原本ニ代ヘ得ヘキモノ
 五抄錄正式謄本 原本ノ一部分ヲ抄寫シタルモノニシテ原本ニ代ヘ得ヘキモノ
 六謄本 原本ノ全文ヲ寫シタルモノ
 七抄錄謄本 原本ノ一部分ヲ抄寫シタルモノ
 八見出帳 日々授受シタル書類ノ番號種類等ヲ順次ニ記入スルモノ
 六公証人ノ手数料並旅費日當ハ左ノ如シ

原 本	一枚ニ付	金二十五圓
正本及謄本	全	金 十 圓
旅費往返共	一里毎ニ	金二十錢
日 當		金七十錢

六十五 登記 法

十九年八月法律第一號
 二十年七月法律第一號

一 地所建物船舶ノ買賣讓與質入書入ノ登記ヲ爲ス者ハ地所建物ハ其所在地船舶ハ其定票場ノ登記所ニ登記ヲ請フヘシ
 農商務省特許局ニ於テ登錄シタル特許意匠及商標ノ登記ハ本人ノ居住地ヲ管轄スル登記所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

二 登記簿ニ登記ヲ爲サ、ル地所建物船舶ノ買賣讓與質入書入ハ第三者ニ對シ法律上其効ナキモノトス

三 登記ハ契約者雙方又ハ其代理人登記所ニ出頭シテ之ヲ請求スヘシ

四 地所建物船舶ノ買賣讓與ニ付登記ヲ請フトキハ契約者雙方出頭シテ其證書ヲ示シ其署名捺印シタル謄本一通ヲ差出スヘシ其質入書入亦同シ

五 家督相續ニ依リ地所建物船舶ノ登記ヲ請フトキハ契約者雙方出頭シ其證書ヲ示スヘシ
 死亡者失踪者若クハ離縁戶主ノ遺留シタル地所建物船舶ヲ相續スル者登記ヲ請フトキハ親屬二名以上又ハ親屬ナキトキハ近隣ノ戶主二名以上連署ノ書面ヲ差出シ且證明書類アル者ハ示スヘシ

六 官有ノ地所建物船舶ノ拂下又ハ無代價下渡ヲ受ク登記ヲ請フトキハ其指令ノ本書若クハ達書ヲ示スヘシ

七 登記料ハ左ノ如シ	登記料	買賣代價	登記料
買賣代價	五圓未滿	五圓未滿	五圓
十圓全	十錢	七百五十圓全	六圓
二十五圓全	二十五錢	千圓全	七圓
五十圓全	五十錢	千五百圓全	八圓
百圓全	一圓	二千圓全	九圓

二百圓全	二圓	五千圓全	十圓
三百圓全	三圓	一萬圓全	十二圓
四百圓全	四圓		

以上五千圓迄毎ニ二圓ヲ増加ス

賃入書入ニ付テハ前記金額ノ區別ニ從ヒ毎一件毎ニ其登記料ノ半額ヲ納ムヘシ但一件ニ付五錢ヨリ下スヲ得ス

家督相續並遺留財産ヲ相續シタルモノ、登記料ハ地所ニ付テハ一筆毎ニ三錢建築物船舶ニ付テハ時價相當ノ價額ヲ定メ前記登記料金額ノ區別ニ從ヒ毎一件ニ其登記料ノ五分ノ一ヲ納メシム但一件ニ付三錢ヨリ下スヲ得ス

家督相續ニ付テハ相續ノ日ヨリ六十日ヲ經過シタル者ハ讓與ノ登記料ヲ納メシム八左ニ掲クル手数料ハ金五錢トス

一 登記事件ノ取消又ハ其變更ノ登記ヲ請フモノハ毎一件
二 登記ノ謄本若クハ拔書ヲ請フ者ハ毎一枚
三 登記ノ一覽ヲ請フモノ

九 左ニ掲クルモノハ登記料及手数料ヲ要セス
一 官廳ノ請求ニ係ル登記

二 公立ノ學校病院公園又ハ養育院ニ係ル登記
三 社寺堂宇及墳墓地ニ係ル登記

四 人民共有ノ用悪水路溜池敷場敷井溝敷及公衆ノ用ニ供スル道路ニ係ル登記

六十六 商業及船舶ニ關スル手数料

二十三年七月
勅令第百廿三號

一 商業ノ登記公告ノ手数料ハ左ノ如シ

一 商號、後見人、未成年者、婚姻契約及代務ノ登記公告ハ本店、支店トニ拘ハラズ各金三十錢

二 會社ノ登記公告ハ本店ト支店トニ拘ハラズ合名會社ニ付テハ金六圓合資會社株式會社ニ付テハ各金十圓其變更又ハ追加ノ登記公告ハ毎一件ニ付金三十錢

三 登記簿ノ閱覽ニ付テハ金十錢
四 登記簿ノ謄本ハ用紙一枚ニ付金十錢

一 商法第八百廿五條ノ登記ニ付テハ金三圓ヲ納ムヘシ
二 商法第八百廿九條ニ定メタル變更ノ付記ニ付テハ金十五錢ヲ納ムヘシ
三 手数料ハ登記印紙ヲ以テ納ムヘシ

六十七 登記印紙ヲ以テ納ムル手数料

二十五年二月
大藏省令第三號

一 登記印紙ヲ以テ手数料ヲ納ムルモノハ其金額ニ相當スル印紙ヲ其願書其他ノ書類ニ貼用シ署名ノ下ニ押捺スル印ヲ以テ書面ト印紙ノ彩紋ニカケ消印スヘシ
二 登記印紙ヲ以テ納ムル手数料種目ハ左ノ如シ

- 一 煙草營業鑑札料及仕入出賣鑑札料
- 二 菓子營業鑑札料及仕入出賣鑑札料
- 三 賣藥營業鑑札料
- 四 以上各種鑑札再渡手數料
- 五 牛馬買賣免許鑑札再渡手數料
- 六 土地登帳謄本手數料
- 七 獸醫免許手數料同書換手數料
- 八 蹄鉄工免許手數料同書換手數料
- 九 特許意匠登録商標ニ關スル書類謄本手數料
- 十 同圖面調製手數料
- 十一 醫術開業免許狀手數料並書換手數料
- 十二 藥劑師免許狀手數料並書換手數料
- 十三 藥品其他檢査手數料並再檢査手數料
- 十四 版權登錄料全免許料同版權登錄再渡下付手數料同免許證明書下付手數料
- 十五 學校教員學力檢定試驗料同上免許狀授與手數料
- 十六 海員技術試驗手數料同免許狀手數料水先免許狀手數料
- 十七 旅券並査証手數料
- 十八 教科用圖書檢定料
- 十九 狩獵及獵區設定免許料

- 二十 鐵業ニ關スル手數料
- 二十一 辯護士試驗手數料

六十八 印紙類賣下賣捌規則

二十三年十一月
勅令第二百七十一號

- 一 此規則ニ依リ賣下又ハ賣捌ヲ爲スヘキ印紙類ハ左ノ如シ
 証券印紙形用紙共 煙草印紙 賣藥印紙
 訴訟用印紙 登記印紙
- 二 各府縣ニ在リ印紙類賣捌人ヲ置ク
 元賣捌人 府縣廳ヨリ印紙類ヲ拂受ケ之ヲ其管内ニ於ケル賣捌人ニ賣渡スモノヲ云フ
- 三 賣捌人 元賣捌人ヨリ印紙類ヲ買受ケ之ヲ各需用者ニ賣捌クモノトス
- 三 賣捌人ハ左ノ順序ニ依リ許可スヘシ但第三ニ當ル者ハ三ケ年以内ノ期限ヲ定メ許可スルモノトス
- 一 陸海軍軍人其他公務ノ爲メ受ケタル傷痕又ハ疾病ヲ以テ法律ニ依リ恩給ヲ受クル者
- 二 法律ニ依リ扶助料ヲ受クル者
- 三 一般人民

四印紙類ヲ賣捌ノトスルモノハ府縣廳へ願出許可ヲ受クヘシ
 五印紙類ハ代金納付ノ上之ヲ下渡スヘシ印紙類ノ賣下代金一回二千圓以上ハ公債證
 ヲ抵當ト爲シ六ヶ月以内ノ延納ヲ許スコトヲ得
 六印紙類賣捌ノ許可ヲ得タル者左ノ事項ニ當ルトキハ其効ヲ失フモノトス
 一恩給若クハ扶助料ヲ受クル者其權利消滅若クハ停止セラレタルトキ
 二賣捌區域外ニ移住シタルトキ
 七印紙類ハ定價ヲ以テ要用者ニ買渡スヘシ

六十九 同上施行細則

二十三年十一月 大藏省令第三十四號

一元賣捌人ハ本店ヲ府縣廳所在地ニ置キ各間稅分署所轄内ニ支店又ハ代理店ヲ設ク
 賣捌人ハ各間稅分署所轄内ヲ一區トシ其區内ノ川勢商業等ノ實況ニ應シ府縣知事
 適宜之ヲ定ムヘシ
 一印紙類ハ額面ニ對シ左ノ割引ヲ以テ賣下又ハ買渡スモノトス
 一 間稅署ヨリ元賣捌人ニ賣下クルトキ
 登記印紙 百分ノ六
 其他ノ印紙 百分ノ七
 二元賣捌人ヨリ賣捌人ニ買渡スル
 同 百分ノ八
 同 百分ノ九

三印紙類ノ交換又ハ買戻ニ對スル割引歩合ハ額面ニ對シ左ノ如ク
 一 賣捌人ヨリ元賣捌人ニ請求スルトキ 登記印紙 百分ノ九
 其他ノ印紙 百分ノ十
 二元賣捌人ヨリ間稅署ニ請求スルトキ 同 百分ノ八
 同 百分ノ九

七十 郵便切手賣下人心得

二十五年三月 遞信省令第五十號

一郵便切手賣下人ハ免許ヲ受ケ郵便切手ヲ需用者ニ賣捌ク者トス
 二郵便切手賣捌方ハ簡便ニシテ可成速ニ需用者ノ請求ニ應スヘシ其賣捌時刻ハ少ク
 三月乃至十月ハ午前五時ヨリ午後十時マテ十一月乃至翌年三月マテハ午前六時
 ヨリ午後十時マテハ之ヲ謝絶スルヲ得ス
 三郵便切手ハ豫メ日々ノ賣捌高ヲ見積リ欠乏ヲ來タサハル豫常ニ相當ノ員數及種類
 ヲ備ヘ置クヘシ
 四郵便切手賣下手數料ハ其賣下切手百分ノ五トス郵便切手賣下手數料ハ郵便局ヨリ
 郵便切手賣下ノ都度現金ヲ以テ下渡スヘシ

七十一 辯護士法

二十六年三月
法律第七號

- 一 辯護士ハ當事者ノ委任ヲ受ケ又ハ裁判所ノ命令ニ從ヒ通常裁判所ニ於テ法律ニ定メタル職務ヲ行フ者トス但特別法ニ依リ特別裁判所ニ於テ其職務ヲ行フヲ防ケス
- 二 辯護士タラント欲スル者ハ左ノ條件ヲ備フルコトヲ要ス
 - 一 日本臣民ニシテ民法上ノ能力ヲ有スル成年以上ノ男子タルコト
 - 二 辯護士試験規則ニ依リ試験ニ及第シタルコト
 - 三 左ニ掲クルモノハ試験ヲ要セスシテ辯護士タルコトヲ得
 - 一 判事檢察官タル資格ヲ有スル者又ハ辯護士ニシテ其請求ニ依リ登録ヲ取消シタル者
 - 二 法律學ヲ修メタル法學博士帝國大學法律科卒業生舊東京大學法學部卒業生司法省舊法學校正則部卒業生及司法官試補タリシ者
 - 三 辯護士ハ報酬アル職務ヲ兼ヌルコトヲ得ス但帝國議會議員府縣會常任委員ト爲リ又ハ官廳ヨリ特ニ命セラレタル職務ヲ行フハ此限ニアラス
 - 四 辯護士ハ商業ヲ營ムコトヲ得ス但辯護士會ノ許諾ヲ得タル者ハ此限ニアラス
 - 五 辯護士名簿ニ登録ラズシテ之ヲ營ム者ハ登録手續料トシテ金二十圓ヲ修ムヘシ
- 他ノ地方裁判所ヘ登録換ヲ爲スルハ手續料トシテ金十圓ヲ納ムヘシ

七十二 利息制限法

十九年九月
布告第六十六號

- 一 凡ソ金銀貸借上ノ利息ヲ分ケテ契約上ノ利息ト法律上ノ利息トス
- 二 契約上ノ利息トハ人民相互ノ契約ヲ以テ定メ得ヘキ所ノ利息ニシテ其制限左ノ如シ

元金	百圓以下	一ケ年	百分ノ二十(二割)
	千圓以下	同	同 十五(一割五分)
	千圓以上	同	同 十二(一割二分)
- 三 法律上ノ利息トハ人民相互ノ契約ヲ以テ利息ノ高ク定メサル所ノ裁判所ニ於テ之ヲ定ムルモノニシテ其制限左ノ如シ
 - 一ケ年 百分ノ六(六分)

七十三 出訴期限規則

六年十一月
布告第三百六十二號

- 一 出訴期限ハ左ノ三種トス
 - 一 學藝ノ授業料
 - 一 飲食料
 - 一 職人ノ手間代金
- 一 旅籠料
- 一 手付金
- 一 日雇人ノ給料
- 一 運送賃
- 一 商人相互ノ買掛金
- 一 請負金

- 一 芝居ノ木戸錢又ハ棧敷錢
- 一 男女藝者ノ揚代金
- 右ハ六ヶ月限
- 一 醫師ノ診診及藥料
- 一 授業師ヨリ門弟子ニ給與シタル飲食料
- 一 商人ヨリ非商人ヘノ賣掛金
- 一 一ヶ年期迄ノ奉公人給料
- 右ハ一ヶ年限
- 一 期限ヲ定メタル貸付米金及其利息アレハ其利息
- 一 期限ヲ定メタル預リ米金及其利息アレハ其利息
- 一 家屋及土地ノ借賃
- 一 小作米金
- 一 證據金
- 一 敷金
- 一 物品ノ借賃又ハ損料
- 一 養育料
- 一 七ヶ年期迄ノ奉公人給料
- 一 期限ナキ年金及一生涯ノ年金
- 右ハ五ヶ年限
- 一 契約証書中期限ナキモノハ出訴ノ日ヲ期限ト看做ス

七十四 執達吏規則

二十三年七月 法律第五十一號

- 一 執達吏ハ當事者ノ委任ニ依リ左ノ事務ヲ取扱フコトヲ得
- 一 告知及催告ヲ爲ス
- 一 不動産不動産ノ任意競買ヲ爲ス
- 一 拒證書ヲ作ル

二 執達吏ハ法律規則ニ定メタル職務ノ外裁判所及檢事局ノ命令ニ依リ其職務ニ應ル事務殊ニ左ノ事務ヲ取扱フノ義務アリ

- 一 書類物品ノ送附ヲ爲ス
- 二 罰金料ヲ徴收シ沒收品ヲ取上ケ若クハ賣却スル
- 三 令狀ヲ執行スル

七十五 執達吏手数料規則

二十三年七月 法律第五十二號

- 一 書類送達ノ手数料ハ一通ニ付金五錢トス
 - 二 有體動産及土地ヨリ離レサル果實並ニ爲替證券其他裏書ヲ以テ移轉スルコトヲ得ル證券ノ差押假差押ニ付テノ手数料ハ左ノ區別ニ從フ
- | | |
|---------------|--------|
| 執行スヘキ債權額 | 手数料 |
| 二十圓マテ | 三十錢 |
| 五十圓マテ | 五十錢 |
| 百圓マテ | 七十錢 |
| 千圓ヲ超フルトキハ二圓トス | 千圓マテ |
| 執行スヘキ債權額 | 手数料 |
| 二百五十圓マテ | 一圓 |
| 五百圓マテ | 一圓二十五錢 |
| 千圓マテ | 一圓五十錢 |
- 若シ執務時間三時間以上ニ涉ルトキハ一時間毎ニ前ニ掲クル手数料ノ十分ノ三ニ加フ其一时间ニ滿タサルモノ亦同シ

三 執達吏差押假差押ヲ爲スヘキ場所ニ臨ムト雖モ差押フヘキ物ナキトキ又ハ差押フヘキ物ヲ換價スルモ強制執行ノ費用ヲ償フテ剩餘ヲ得ル見込ナキハ前掲ノ手数料ノ半額ヲ受ク

四 特定ノ動産又ハ代替物ノ一定ノ數量ヲ債務者ヨリ取上ケ之ヲ債權者ニ引渡ス場合ニ於テハ其手数料ヲ五十錢トス若シ職務ニ時間以上ニ渉ルハ一時間毎ニ十五錢ヲ加フ其職務一時間ニ滿タサルモノ亦同シ

前項ノ場合ニ於テ執達吏其場所ニ臨ムト雖モ引渡スヘキ物ナキハ前記手数料ノ半額トス

五 動産不動産及船舶ノ競賣ニ付テノ手数料ハ左ノ區別ニ從フ但競賣ニ依リ得タル金額執行スヘキ債權額ニ超過スルハ其債權額ヲ以テ競賣金額ト看做ス

競賣金額	手数料	競賣金額	手数料
二十圓マテ	六十錢	二百五十圓マテ	二圓
五十圓マテ	一圓	五百圓マテ	二圓五十錢
百圓マテ	一圓五十錢	千圓マテ	四圓
以上千圓毎ニ一圓ヲ加フ			

任意競賣ニ付テモ亦同シ

七十六 民事訴訟費用法

二十三年八月 法律第六十四號

- 一 民事訴訟費用ハ左ノ規定ニ依リ算定ス
- 一 訴狀其他書類書記料
 - 二 圖面
 - 半枚(十二行二十字詰) 二錢五厘
 - 一枚 十錢
 - 三 翻譯料
 - 半枚(十二行二十字詰) 五十錢
 - 四 印紙代
 - 印紙ノ價額
 - 五 郵便電信料運送料
 - 定 價 費
 - 六 公告料
 - 定 價
 - 七 辯護士ノ報酬(裁判所ヨリ命セラレタルハ)
 - 裁判所之ヲ定ム
 - 八 當事者ノ日當
 - 出頭一度 五十錢
 - 九 証人ノ日當
 - 全 五十錢
 - 十 鑑定人及通事ノ日當
 - 全 五十錢乃至一圓
 - 十一 當事者ノ滞在費
 - 但裁判所之ヲ定ム 二十五錢
 - 十二 証人鑑定人及通事ノ滞在費
 - 但滿八里以外ヨリ來リタル者ニ限ル 一日 五十錢
 - 十三 當事者証人鑑定人通事ノ旅費海陸滿一里毎ニ 十錢
 - 十四 判事檢事書記ノ臨檢旅費及滞在費ハ証人ニ準ス

十五右ノ外必要ノ費用ハ實費ニ依ル

七十七 民事訴訟用印紙法

二十三年八月
法律第六十五號

一民事訴訟ノ書類ニハ其正本ニ印紙ヲ貼用スヘシ
但裁判所書記ニ口述シテ調書ヲ作ラシメタル片ハ其調書ニ印紙ヲ貼用スヘシ

二財産權上ノ請求ニ係ル第一審ノ訴狀ニハ訴訟物ノ價額ニ應シ左ノ區別ニ從ヒ印紙ヲ貼用スヘシ

訴訟物ノ價格	印紙料	訴訟物ノ價額	印紙料
五圓マテ	二十錢	二百五十圓マテ	六圓五十錢
十圓マテ	三十錢	五百圓マテ	十圓
二十圓マテ	六十錢	七百五十圓マテ	十三圓
五十圓マテ	一圓五十錢	千圓マテ	十五圓
七十五圓マテ	二圓五十錢	二千五百圓マテ	二十圓
百圓マテ	三圓	五千圓マテ	二十五圓
		五千圓以上ハ千圓ニ達スル毎ニ二圓ヲ加フ	

訴訟物ノ價額ヲ算定スルハ民事訴訟法第三條乃至第六條ニ依ル

三財産權上ノ請求ニ非サル訴訟ニ付テハ其訴訟物ノ價額百圓ト看做シ印紙ニ貼用ス

ヘシ

財産權上ノ請求ニ非サル訴訟ト其訴訟ニ依テ生スル財産權上ノ訴訟ト併合スル片ハ其多額ナル一方ノ訴訟物ノ價格ニ依リ印紙ヲ貼用スヘシ

四本訴ト反訴ト其目的カ同一ノ訴訟物ナル片ハ反訴ノ訴狀ニハ印紙ヲ貼用スルヲ要セス

五控訴狀ニハ第二項ニ從ヒ其半額上告狀ニハ其全額ノ印紙ヲ加貼スヘシ

六左ニ掲クル書類ニハ五十錢ノ印紙ヲ貼用スヘシ

- 一抗告
- 二故障
- 三證據調ノ申立
- 四假差押及假處分ノ申請
- 五判決ノ送達アラソフヲ求ムル申立
- 六執行力アル正本ヲ求ムル申立但此正本數通ヲ求ムル片ハ其一通毎ニ五十錢ノ割合ヲ以テ印紙ヲ貼用スヘシ
- 七答辯書其他申立及申請ニハ二十錢ノ印紙ヲ貼用スヘシ

七十八 訴訟書類郵便送達

二十四年六月
勅令第五十四號

民事訴訟法第二十六條ニ依リ郵便ヲ以テ訴訟書類ノ送達ヲ爲ス片ハ郵便稅書留手續料ノ外送達手續料トシテ一通ニ付五錢ヲ納ムヘシ其手續料ハ郵便切手ヲ以テ前納ルモノトス

七十九 商事非訟事件印紙法

二十三年八月
法律第六十六號

- 一 商法中登記ニ關ル場合ヲ除ク外非訟事件ニ付裁判所ノ命令其他ノ處分ヲ求ムルモノハ其書類ニ民事訴訟用印紙ヲ貼用スヘシ
- 二 但口述ヲ以テスル場合ハ其調書ニ印紙ヲ貼用スヘシ
- 三 左ニ掲クルモノニ付テハ五十錢ノ印紙ヲ貼用スヘシ
 - 一 抗告又ハ假差押ノ申立
 - 二 債權者ヨリ爲ス破産宣告ノ申立
 - 三 支拂猶豫ノ申立
 - 四 左ニ掲クルモノニ付テハ二十錢ノ印紙ヲ貼用スヘシ
- 四 一抗告ニ對スル答辯
- 五 二裁判所ノ命令其他處分ノ申立ニシテ本法ニ於テ特ニ規定セサル非訟事件ニ係ルモノ
- 六 四破産ノ手續ニ付テハ破産財團中ノ貸付金額ニ應ジ左ノ區別ニ從ヒ印紙ヲ貼用スヘシ
 - 一 但財團管理ノ費用及ヒ財團ノ爲メニ負擔シタル債務並ニ別除ノ辨濟ニ供スル金額ハ貸付金額ヨリ之ヲ控除スヘキモノトス
 - 二 財團ノ價額
 - 三 印紙料
 - 四 財團ノ價額
 - 五 印紙料

十圓マテ	六十錢	五百圓マテ	二十圓
二十圓マテ	一圓二十錢	七百五十圓マテ	二十六圓
五十圓マテ	三圓	千圓マテ	三十圓
七十圓マテ	四圓四十錢	二千五百圓マテ	四十圓
百圓マテ	六圓	五千圓マテ	五十圓
五千圓以上ハ千圓ニ遡スル毎ニ四圓ヲ加フ			

八十 種痘規則

十八年十一月
布告第三十四號

- 一 種痘ハ小兒出生後滿一年以内ニ之ヲ行フヘシ若シ不善感ナルトキハ更ニ一週年内ニ再三種ヲ行フヘシ
- 二 種痘ハ善感後ト雖トモ五年乃至七年ニ再種ヲ行ヒ再種後五年乃至七年ニ三種ヲ行フヘシ
- 三 天然痘流行ノ兆アルトキハ前掲ノ期限ニ拘ハラヌ掛官吏ノ指定シタル期日内ニ種痘ヲ行フヘシ

八十一 海外旅券規則

十一年二月 外務省布達第一號

- 一 海外旅券ヲ請フモノハ外務省又ハ開港場管廳へ願出旅券ヲ受取ルヘシ
- 二 旅券ヲ受クルモノハ手續料トシテ金五十錢ヲ納ムヘシ但旅券ハ一人一枚ニ限ル若
- 五才以下ノ小兒ハ其父母ノ旅券ニ附記スルヲ以テ足ル
- 三 旅券ハ歸朝ノ後三十日以内ニ最初之ヲ受取リタル管廳へ返納スヘシ

附 錄

戶籍願届書式

出生届

住所身分

何某妻長女姉妹等

職業 氏 名

生年月

一 公生或ハ私生長ニ男女

一 氏名

一 何月妊娠

一 何月何日出生

右之通ニ付此段御届申候也

年月日

右戶主氏名印

市町村長宛

死亡(死産)(變死)届

届書前ニ同シ

職業 氏 名

生年月

一 何月何日病死(死産) 死産ナル片 (變死) ハ何月妊娠

右之通ニ付醫師(又ハ産婆)ノ書面ヲ添へ

此段御届申候也

右戶主

年月日

氏 名 印

市町村長宛

死亡届

肩書前ニ同シ

職業 氏 名

生年月

一病名

一何月何日死

一未婚又ハ既婚配偶

右拙者施治ノ患者ニ候處死亡致候ニ付此
段御届申候也

何郡何町村番地

年月日 醫師 氏 名 印

市町村長宛

死産届

肩書前ニ同シ

職業 氏 名

年月日

一公生或ハ私生長ニ男女

一何月妊娠

一何月何日死産

右之通ニ付此段御届申上候也

何郡何町村番地

年月日 醫師又ハ産婆氏名 印

市町村長宛

死体検案書

肩書前ニ同シ

職業 氏 名

生年月

一病名(死ニ至ル迄ノ原因ハ可成詳記ス
ハシ)

一何月何日死亡

一未婚又ハ既婚配偶 有 無

右死体検案候處前書之通相違無之候也

何郡何町村番地

年月日 醫師 氏 名 印

市町村長宛

送籍届

肩書前ニ同シ

職業 氏 名

生年月

右雙方熟識ノ上何府縣何國何市郡町村番
地華士族平民何某養子女(相續人トナス
記ス)(或ハ妻等)ニ差遣ハシ(又ハ離縁
候ニハ付送籍相成度此段相願候也

右戸主

年月日 氏 名 印

右本人

氏 名 印

住所身分

受籍戸主 氏 名 印

市町村長宛

参考

死屍ヲ埋葬又ハ火葬セント欲スルモノ
 ハ主治醫ノ亡死届書ヲ添ヘテ市町村長
 ノ認許証ヲ受クヘシ
 妊娠四ヶ月以上ノ死胎ニ係ルルハ醫師
 若クハ産婆ノ死産証ヲ添ヘ市町村長ニ
 差出シ認許証ヲ受クヘシ
 變死ニ係ルルハ立會醫師ノ檢案書ニ檢
 視官吏ノ檢印ヲ受ケ之ヲ市町村長ニ差
 出シ認許証ヲ受クヘシ

寄留届

住所身分職業
 父某何男
 何年何月生
 何
 父 誰
 何年何月生
 母 誰
 何年何月生
 何郡何町村何之誰何女
 妻 誰
 同上
 右ハ本月何日ヨリ何町通何番町何番地へ
 寄留爲致候間此段御届申上候也
 年月日 右地主又ハ家主
 何 誰
 右本人 何 某

市町村長宛

出版及版權ニ關スル願届手續 廿六年四月内務省令第七號

第一書式 用紙美濃紙

出版御届

一書名 全何冊(枚)

右何誰著述(編纂、演說、講義、翻譯)何々
 ノ事ヲ記載(論述)セシモノニシテ今般出
 版候條製本二部相添ヒ此段御届申上候也
 年月日 住所

發行者 氏 名 印

住所

著作者(相續者)氏名印

内務大臣(符)何誰殿

第二書式 用紙同上

再版御届

一書面 全何冊(枚)

右何誰著述(編纂、講義、翻譯)何々ノ事ヲ
 記載(論述)セシモノニテ何年何月日出版
 (發行)致候處改正(増減、付録、註解、繪圖
 等)相加ヘ今般再版候條製本二部相添ヒ
 此段御届申上候也
 年月日 住所

發行者 氏 名 印

住所

著者 氏 名 印

内務大臣(符)何誰殿

第三書式 用紙同上

版權登錄願

一書名 全何冊(枚) 一部定價金何圓何錢

此登錄料製本六部ノ定價金何圓何錢

(六部ノ定價五十錢ニ滿タサル者ハ
登錄料金五十錢ト記載シ其十圓ヲ
超フルモノハ登錄料
金十圓ト記載スヘシ)

印 印

登記
印紙

右何年何月出版致候處版權登錄被下度此
段相願候也

住所

年月日

版權所有者 氏名印

內務大臣(官)何誰殿

第四書式 用紙同上

寫真版權登錄願

一物象ノ名 何枚一枚ノ定價金何圓何錢

此登錄料製本六部ノ定價金何圓何錢

印 印

登記
印紙

右何々ノ具形ヲ寫シタルモノニテ今般發
行致候條版權登錄被成下度見本二葉相願
ヒ此段相願候也

住所

年月日

版權所有者 氏名印

內務大臣(官)何誰殿

第五書式

(寫真)版權登錄證書

再渡御下附願

寫真版權登錄費號

一書名(物象ノ名) 全何冊(枚)

此手數料金五十錢

印 印

右何年何月版權御許可ヲ受ケタル處何々
ニ依リ毀損(紛失)候條版權登錄証更ニ御
下附被下度此段相願候也

住所

年月日

版權所有者 氏名印

內務大臣(官)何誰殿

特許願届(二十五年十一月農
商務省令第十七號)

第一書式(特許ヲ願出ルルノ例)

特許願(此處ニ登記印紙ヲ
貼用シ消印スヘシ)

一何々 發明ノ名稱
ヲ掲クヘシ

右ハ別紙明細書ニ記載スル通ノ工術(機
械、製造品、合成物)ニシテ何年何月何日
私(私共)ノ完成シタル發明ニ有之特許條
例ニ觸レサル者ト確信候間何々年ノ特許
相受度此段相願候也

本籍及現住所

身分職業

年月日

發明者 氏名 印

二名以上ナルルハ各男
名捺印スヘシ以下同シ

農商務大臣(官)何誰殿

第二書式(特許ノ買與、讓與、共有、又ハ書入ノ登録ヲ請求スルルルノ例)

特許買與(讓與、共有、書入)登録請求書

一第何號特許證

一何々發明ノ名稱ヲ掲クヘシ

一發明者氏名

右私(私共)所有特許ヲ別紙契約書之通賣與(讓與、共有、又ハ書入)候間登録相成度契約書正副二通並ニ特許證相添へ此段請求候也

本籍(及現住所)

身分職業

年月日

特許證主 氏名 印

本籍(及現住所)

身分職業

買受(讓與、共有)人氏名印

農商務省特許局長氏名印

第三書式(特許證ノ再下附ヲ願出ツルルルノ例)

特許證再下附願(此處ニ登記印紙ヲ貼用シ消印スヘシ)

一第何號特許證

一何々發明ノ名稱ヲ掲クヘシ

一發明者氏名

右私(私共)所有特許證何々事由ヲ記ニ依リ毀損(亡失)候ニ付特許證再下付相成度此段相願候也

前二同シ

年月日

特許證主 氏名 印

農商務大臣(爵)氏名印

第四書式(特許證ノ改訂ヲ願出ルルルノ例)

特許證改訂願(此處ニ登記印紙ヲ貼用シ消印スヘシ)

一第何號特許證

一何々發明ノ名稱ヲ掲クヘシ

一發明者氏名

右私(私共)所有特許證付屬ノ明細書(圖面)中何々事由ヲ記ノ爲メ特許ノ効力ヲ全クシ難キニ付別紙ノ通改訂致度尤之レカ爲メ發明ノ要部ニ變更ヲ生スル義無之候間改訂特許證下付相成度別紙改訂明細書(改訂圖面)並ニ現時特許證及付屬明細書(圖面)相添此段相願候也

前二同シ

年月日

特許證主 氏名 印

農商務大臣(爵)氏名印

用紙美濃 十三行二十五字詰 意匠登録ニ關スル願届

二十五年十一月 農商務省令第十八號

意匠登録願(此處ニ登記印紙ヲ貼用シ消印スヘシ)

一何々(意匠)名稱ヲ掲クヘシ

右ハ別紙明細書及圖面(寫真)ノ通ノ意匠ニシテ私(私共)ノ案出候モノニ有之意匠條例ニ觸レサル者ト確信候間何々年ノ登録相受度此段相願候也

本籍(及現住所)

身分職業

年月日

案出者 氏名 印

二人以上ナルルハ各署名捺印スヘシ以下總テ此例ニ依ル

又ハ所在地 登録願人會社(組合)各(社組)印

社(組)長又ハ重役 氏名 印

會社又ハ組合ヨリ蓋出ス書面ノ署名方ハ此例ニ依ル

備考 登錄意匠買與讓與並登錄證再下付ハ特許ノ例ニ依ル

商標條例ニ關スル願届

二十五年十一月號
商務省令第十九號
書式 用紙美濃紙十三行二十五字詰

商標登錄願 (此處ニ登記印紙ヲ貼用シ消印スヘシ)

別紙明細書ニ記載ノ商標ハ商標條例ニ觸レサルモノト確信候間登錄相成度此段相願候也

本籍(及現住所)

營業名 出願商標ヲ使用スル業名以下同シ

自分

年月日

登錄願人 氏名

名印

又ハ所在地

營業名

登錄願人 會社(組合)各社印

社(組)長又ハ重役

氏名印

農商務大臣(舊)氏名職

登錄商標續用登錄願(前通)

一第何號商標登錄證

右私所有登錄商標來ル明治何年何月何日ニテ專用年限滿期ノ處尙ホ引續專用致度ニ付更ニ登錄相受度此段相願候也

本籍(及現住所)

身分職業

年月日

登錄商標主 氏名印

農商務大臣(舊)氏名職

備考商標登錄證其下付願人特許ノ例ニ依ル

所得稅屆書 二十年五月大藏省令第八號

所得稅高居

一金何圓 何々ノ利息又ハ配當金又ハ何々

一金何圓 貸金ノ利息

一金何圓 何々ノ所得

外 何租、何稅、區町村費、備荒儲蓄金

金何圓 製造品原質物、代金、商品原價

金何圓 借地借家料、何々借入料、何々修繕料

金何圓 佃代、肥代、何々買入代金

金何圓 雇人給料、何々手當、何々費

金何圓 何々ニ係ル負債ノ利息

小以金何圓

所得高計金

右之通候也

何縣 何郡市何村居住(又ハ寄留)

年月日

若シ管理人ナルトキハ

何町村 何誰納稅管理人

備考 (郡市)長宛 所得高ノ種類ノ異ナル者ハ一ニ列記スルヲ要ス

所得稅納入地届

一金何圓 何々ノ所得

一金何圓

外

金何圓 何々

金何圓 何々

小以金.....

所得高計金何圓

右ハ御所轄郡區内ノ所得ニ有之候處稅金ハ何府縣何郡何町村ニ於テ合算ノ上相納候ニ付此段及御届候也

住所.....

年月日

前ニ同シ

何 誰

(郡市)長宛

國稅ニ關スル營業願届

廿三年十二月縣令甲第九十六號

菓子營業願

一菓子(製造御賣小賣)營業免許鑑札

何郡市町村番戶

場

一何(製造御賣小賣)營業仕入鑑札

營業

携帶人何某

生年月日

一何(全上)營業出賣鑑札

携帶人何某

生年月日

前記鑑札御下付相成度此段相願候也

生年月日

何郡市町村番戶

年月日

生年月日

縣知事宛

備考 一出願人既婚婦ナルトキハ夫許諾

ノ証トシテ建署スヘシ

一出願人未成年者ニシテ後見人ユヨリ營

業ヲ爲スモノハ後見人連署スヘシ

一前項一ニハ酒造營業糖麴營業牛馬買賣

免許願ニ一ハ醬油製造營業煙草營業願

ニモ適用ス

菓子鑑札(書換再渡)願

鑑札番號 何郡市町村番戶

一菓子何々鑑札 營業 場

鑑札番號

一菓子何々鑑札 携帶人何某

生年月日

右何月何日(遺失、毀損、又ハ改氏名代換

轉居其他事故)ニ付鑑札(書換)(再渡)被

下度此段相願候也

何郡市町村番戶

年月日

何 某

縣知事宛

備考

酒造、醬麴ニ此例ニ依ル

菓子廢業届

鑑札番號 何郡市町村番戶

一菓子何々鑑札 營業 場

鑑札番號

一菓子何々仕入鑑札 携帶人何某

右廢業仕候間鑑札返納此段及御届候也

何郡市町村番戶

年月日

何 某

縣知事宛

備考

酒造、醬麴、煙草營業廢業届ニ此例ニ依ル

船鑑札下付願

定業場

何郡市何港(海岸)(何河)(何湖)

蒸氣(風帆)(日本形)船何噸(石)積(船緊

ヨリ船梁マテ何間)

一何丸(小回船)

右新規造船仕候間鑑札御下付相成度此段

相願候也

何郡市何町村番戶

年月日

何 某

縣知事宛

備考 鑑札書換再渡願ハ菓子ノ例ニ依ル

解船届

番號

一何 九

右破解候ニ付鑑札返納此段及御届候也

年月日

何郡市町村番戸

何 某

縣知事宛

車檢印願

一何車(人力車、荷積車)

但何々(人力車ナレハ一人乘二人乘荷車ナレハ大七以上中小車)

右新調候間檢印相成度此段相願候也

年月日

何郡市町村番戸

何 某

縣知事宛

車賣買(讓與)届

一何車(人力車、荷車)

何 輛

但何々

右賣買(讓與)候間雙方連署此段及御届候也

年月日

何郡市町村番戸

賣渡(讓渡)人何某

何郡市町村番戸

買受(讓受)人何某

縣知事宛

解車届

一何車

何 輛

但何々

右解車候間檢印相添此段及御届候也

年月日

何郡市町村番戸

何 某

縣知事宛

牛馬賣買免許鑑札下付願

一鑑札

何 枚

前記鑑札御下付相成度此段相願候也

年月日

何

生年月 某

縣知事宛

牛馬賣買廢業届

鑑札番號

一鑑札

何 枚

右廢業仕候間鑑札返納此段及御届候也

何郡市町村番戸

年月日

何

某

縣知事宛

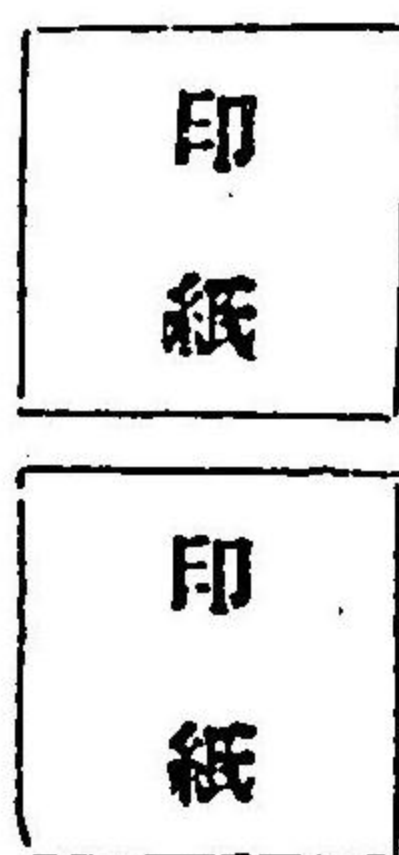
第廿九 証書帳簿印紙貼用式

十七年五月 大藏省告示第五十六號

金高郵政証書印紙貼用様式

証

「差出人」印



一金何百何拾圓

右者.....

年月日

何ノ誰印

何ノ誰殿

又ハ

何々登記ノ謄本又ハ抜書下付願

此手数料金五錢

又ハ

何々登記簿閲覧願

此手数料金何錢

他ハ皆以上ノ例ニ倣フヘ

明治廿六年六月十八日印刷

明治廿六年六月廿五日發行

編纂者 松井精一 郎

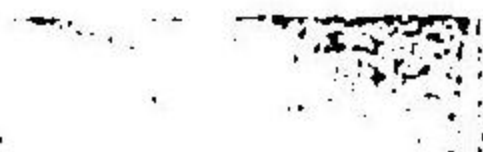
新潟縣新潟市學校町通
二番町三百八十八番戶

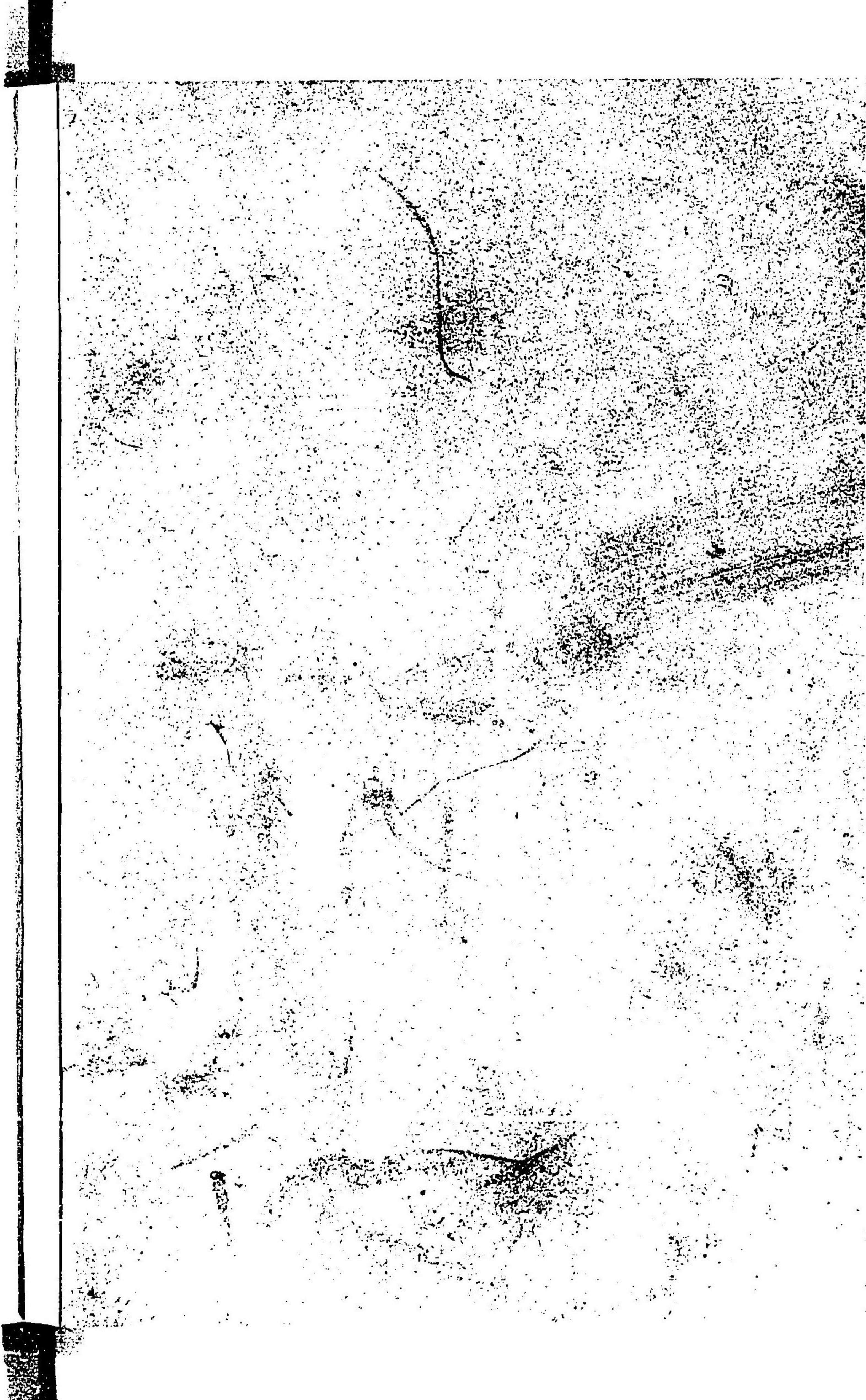
發行者 村上貫司

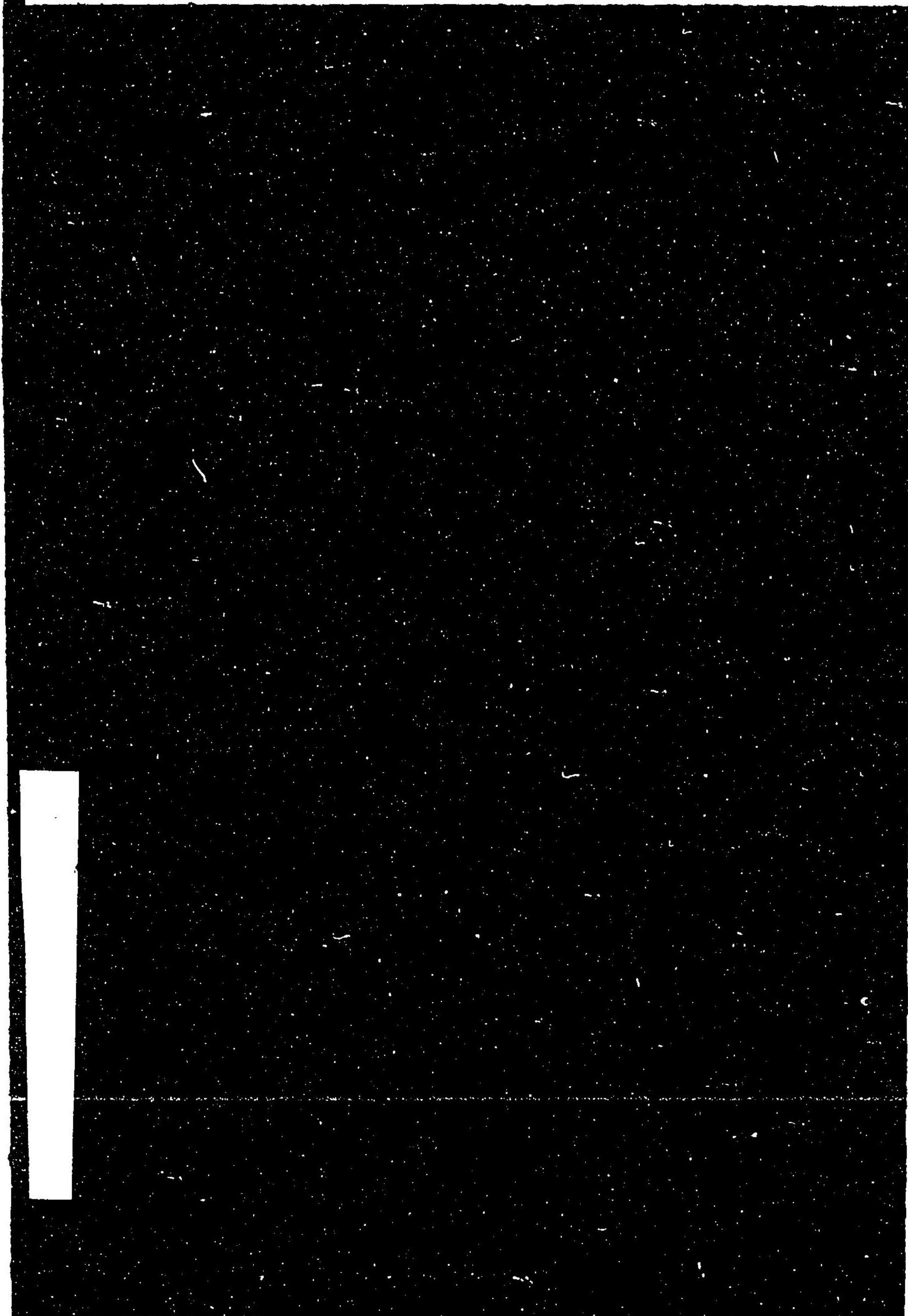
全縣全市古町通六番町
十二番戶

印刷者 濱田清

全縣全市古町通三番町
七十四番戶







特46

825

民間

日用宝鑑

国立国会図書館

031136-000-2

特46-825

民間日用宝鑑

松井 精一郎 / 編

M26

BBC-1121



9
7
C